記録1

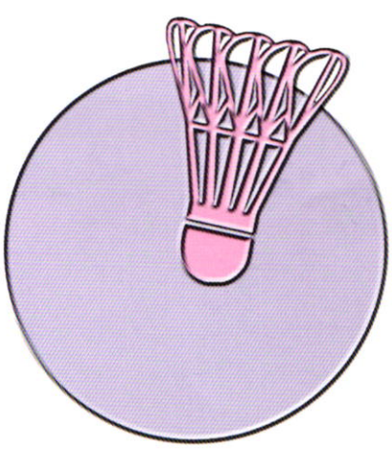
第35回 全国高等専門学校体育大会

第24回 全日本高等専門学校バドミントン選手権大会



期　日　平成12年 **8**月 **5**日(土)・**6**日(日)

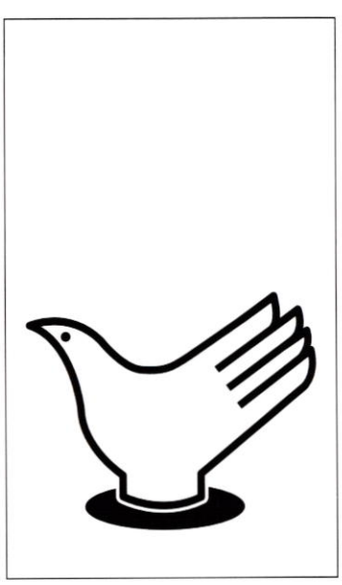
会　場　北海道・函館市民体育館



主　　催	財団法人 日本バドミントン協会
	社団法人 全国高等専門学校体育協会
担当地区	北海道
競技開催校	函館工業高等専門学校
主　　管	北海道バドミントン協会・函館地区バドミントン協会
	社団法人全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部
	函館工業高等専門学校
後　　援	文部省・財団法人日本体育協会
	北海道・北海道教育委員会
	函館市・函館市教育委員会・函館市体育協会

社団法人全国高等専門学校体育協会マーク

全国高等専門学校体育協会マーク



[redacted]は技術を表わす。
手を開いた親指の部分を首、他の４本を翼にして、鳩を表徴している。
鳩は平和と共に伝書鳩の速力と正確さを表徴する。
下の楕円は大地を意味し、技術がしっかりと地についたものであることを求める。
心、技、体の３つが立派に調和した姿を青年諸君に強く期待する。
私はこのような心持でこのマークを作ったのである。

昭和42年　盛夏

赤　澤　鉞太郎

作家のご紹介

元　京都高等工芸学校助教授
元　京都市染色試験所図案部長

●表紙写真：函館全景とハリストス正教会・金森倉庫群

目　　次

あいさつ・祝辞 …… 2

大　会　役　員 …… 6

大会実施要項 …… 10

競技種目・競技日程・開催校・競技会場一覧表 …… 13

あ　い　さ　つ …… 15

大　会　日　程 …… 17

大　会　役　員 …… 18

競　技　役　員 …… 22

第24回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会実施要項 …… 24

競技運営上の注意事項・審判上の注意事項 …… 26

体育館使用上の注意事項 …… 27

競　技　会　場　図 …… 28

タイムテーブル …… 29

競技組み合せ …… 30

選　手　名　簿 …… 35

栄　光　の　記　録 …… 43

競技成績記録用紙 …… 47

競技会場案内図 …… 49

あ　い　さ　つ



財団法人　日本バドミントン協会
会長　**桜　内　義　雄**

第24回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会が、日本最初の貿易港として140有余年の長い歴史を持つ国際観光都市、ここ函館の地で函館市民体育館を会場に開催されますことは、まことにご同慶に堪えません。

全国各地区の予選を勝ち抜かれ、晴れて代表の座を手にした選手諸君は、日頃の練習成果を存分に発揮され、全力を尽くして正々堂々と試合をし輝かしい成績を上げられますことを心より期待しております。

本大会は競技技術の向上はもとより、心身の健全な成長を図りスポーツ精神の涵養する場でもあります。勝敗のみにこだわることなく、この大会を機に高等専門学校相互の親睦や交流をより一層深められ、本大会で培った友情や交流の輪を、今後の人生の中に生かされることを切に希望いたします。

終わりになりましたが、本大会の益々のご発展を期待するとともに、本大会の開催に当たり、ご尽力を賜りました関係各位に対しまして衷心より感謝を申し上げ、あいさつといたします。

あ　い　さ　つ



社団法人　全国高等専門学校体育協会
会長　**生　越　久　靖**

このたび，豊かな自然に恵まれたここ北海道を担当地区とする第35回全国高等専門学校体育大会に，全国62校の高等専門学校を代表する学生諸君が集い，『熱く！－しなやかな魂』をスローガンに，盛大なる若人の祭典が開催されますことは，誠に喜びにたえません。

釧路工業高等専門学校を担当校とし，同校ならびに函館工業高等専門学校，苫小牧工業高等専門学校，旭川工業高等専門学校，神戸市立工業高等専門学校を開催校として行われるこの大会に，全国８地区の予選を勝ち抜いて出場の栄誉を得られた皆さんが，厳しい練習の中これまで培ってこられた技術と力を遺憾なく発揮され，正々堂々と健闘されるとともに，競技をとおしてお互いの友情を育まれることを期待しています。

本大会の目的は，高等専門学校教育の一環として，学生に広くスポーツ実践の機会を与え，技術の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り，心身共に健康な学生を育成し，加えて高等専門学校相互の親睦を図ることにあります。

皆さん一人ひとりが，この大会の目的を念頭におかれ，高等専門学校の学生として，また，スポーツを愛する一人の人間としてふさわしく節度のある行動のもと所期の目的を達成されるよう切望します。

最後になりましたが，本大会の開催にあたり，多大なるご尽力をいただきました各競技開催校の関係者各位に深謝いたしますとともに，ご後援くださいました文部省，財団法人日本体育協会，北海道，函館市，苫小牧市，旭川市，釧路市，釧路町，神戸市をはじめ多数の関係機関・団体，またご協力くださいました多くの皆様に，心よりお礼申し上げます。



祝　　辞

文部大臣　**大　島　理　森**

第35回全国高等専門学校体育大会が，全国から多数の選手・役員の皆さんの参加を得て開催されますことを，心からお祝い申し上げます。

近年の我が国においては，小子高齢化の進展，都市化や生活の利便化など急激に社会環境が変化しています。こうした中にあって，スポーツは，明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や，個々人の心身の健全な発達につながるものであり，国民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しむことは，極めて大きな意義を有しています。

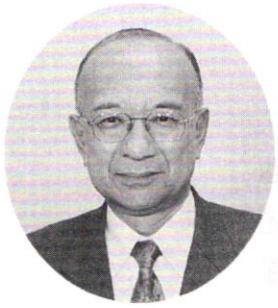
本大会は，スポーツを通じて心身ともに健康な学生の育成と相互の親睦を図ることを目的として開催される，我が国の高等専門学校における一大スポーツイベントであります。

本大会に参加された皆さんは，日ごろからスポーツに親しみ，豊かな学園生活を送られていることと思います。このことは，皆さんが生涯にわたってスポーツに親しむ態度を培っていく観点からも誠に意義深いことであり，今後の人生においても素晴らしい財産になることと思います。

選手の皆さん，どうか日ごろ鍛えた力と技を存分に発揮し，若者らしくはつらつとした試合を展開してください。そして，全国各地から集まった仲間との友情の輪を広げ，たくさんの良き青春の想い出を作り，心に残る大会とされますよう願っています。

終わりに，本大会の開催に御尽力された関係の皆様に深く敬意を表しますとともに，本大会が今後ますます発展していくことをお祈りして，お祝いの言葉といたします。

あ　い　さ　つ



第35回全国高等専門学校体育大会
実行委員長　芳　村　　仁

このたび，各地区大会を勝ち抜いてきた全国62校の高等専門学校を代表する2,000有余名の選手の皆さんをここ北海道地区にお迎えし，第35回全国高等専門学校体育大会を開催できますことは，大きな喜びとするところであります。開催校の各高等専門学校及び担当校を代表して心から歓迎申し上げます。

今大会は，函館（柔道・テニス・バドミントン・水泳），苫小牧（バスケットボール・卓球），旭川（陸上競技・バレーボール・ソフトテニス），釧路（剣道・硬式野球・サッカー・ハンドボール）の北海道地区の４高専及び神戸市立（ラグビーフットボール）を加えた５高専で開催されます。北海道地区の各開催地は，各々道南，道央，道北，道東地方と呼ばれており，それぞれ，開拓の歴史，気候，風景が異なりますが，素晴らしい自然と人々の共生を感じ取っていただけるものと思います。

選手の皆さんが大会ポスターに描かれているように，北の大地の日差しをいっぱいに浴びて，伸びやかにそして力の限り溌溂としたプレイをされ，その中で互いの友情が育まれることを期待いたします。

それは，今大会がスローガンとしている“熱く！－しなやかな魂”にこめられている願いでもあります。

最後に，本大会を開催するにあたり，多大なご支援，ご協力をいただきました関係諸団体ならびに関係各位に感謝申し上げまして，歓迎の挨拶といたします。

大　会　役　員

名　誉　会　長

(財)日本バレーボール協会会長	村　井　　勉
(財)全日本柔道連盟会長	嘉　納　行　光
(財)日本サッカー協会会長	岡　野　俊一郎
(財)日本ハンドボール協会会長	米　倉　　功
(財)日本テニス協会会長	盛　田　正　明
(財)日本バドミントン協会会長	桜　内　義　雄

会　　長

福井工業高等専門学校長	生　越　久　靖

副　会　長

東京都立工業高等専門学校長	坂　本　守　義	育英工業高等専門学校長	フランス・ヘンドリックス
函館工業高等専門学校長	東　　市　郎	苫小牧工業高等専門学校長	佐久間　哲　郎
旭川工業高等専門学校長	吉　田　　宏	釧路工業高等専門学校長	芳　村　　仁
(財)日本テニス協会副会長	若　原　泰　之	(財)日本テニス協会副会長	畑　崎　廣　敏
(財)日本ハンドボール協会専務理事	市　原　則　之	(財)日本バドミントン協会副会長	綿　貫　民　輔
(財)日本バドミントン協会副会長	清　水　　務	(財)日本バドミントン協会副会長	三　宅　祐　司
(財)日本バドミントン協会専務理事	遠　井　稔　男		

顧　　問

文部省高等教育局長	工　藤　智　規	文部省体育局長	遠　藤　純一郎
(財)日本体育協会会長	安　西　孝　之	(財)日本バスケット協会会長	尾　崎　正　敏
(財)全日本剣道連盟会長	武　安　義　光	(財)日本サッカー協会副会長	川　淵　三　郎
(財)日本サッカー協会副会長	小　倉　純　二	(財)日本サッカー協会副会長	釜　本　邦　茂
(財)日本ハンドボール協会副会長	渡　邊　佳　英	(財)日本水泳連盟会長	古　橋　廣之進
北海道知事	堀　　達　也	北海道教育委員会教育長	鎌　田　昌　市
函館市長	井　上　博　司	苫小牧市長	鳥　越　忠　行
旭川市長	菅　原　功　一	釧路市長	綿　貫　健　輔
釧路町長	菅　原　　澄	函館市教育長	金　山　正　智
苫小牧市教育長	福　島　正　義	旭川市教育長	後　藤　典　亨

釧路市教育長	山田和弘	釧路町教育長	山本行信
(財) 北海道体育協会会長	堂垣内尚弘	函館市体育協会会長	柳沢勝
(財) 苫小牧市体育協会会長	篠田和久	(財) 旭川市体育協会会長	坂東徹
釧路市体育協会会長	清水幸彦	釧路町体育協会会長	佐々木正俊
(財) 北海道陸上競技協会会長	鈴木伊佐夫	北海道バスケットボール協会会長	田口正平
北海道ソフトテニス連盟会長	中島尚俊	北海道バレーボール協会会長	中川利若
北海道卓球連盟会長	小笠原孝	(財) 北海道剣道連盟会長	松本明正
北海道高等学校野球連盟会長	渡部義徳	(財) 北海道サッカー協会会長	村井將一
北海道テニス協会会長	長野隆	北海道ハンドボール協会会長	高橋辰夫
北海道バドミントン協会会長	小林純幸	(社) 北海道柔道連盟会長	須貝忠吉
北海道水泳連盟会長	日沼俊栄	函館水泳協会会長	小田桐隆三

参与

木更津工業高等専門学校長	北尾美成	舞鶴工業高等専門学校長	白石成人
茨城工業高等専門学校長	木村直	福島工業高等専門学校長	岩松幸雄
長岡工業高等専門学校長	小川正二	豊田工業高等専門学校長	高木不折
和歌山工業高等専門学校長	興地斐男	呉工業高等専門学校長	長町三生
詫間電波工業高等専門学校長	布川昊	佐世保工業高等専門学校長	根本實
(財) 日本テニス協会専務理事	南操二	(財) 日本テニス協会実行委員長	田中耕二

実　行　委　員　会

実行委員長

釧路工業高等専門学校長　　芳村　　仁

副　委　員　長

函館工業高等専門学校長	東　　市郎	苫小牧工業高等専門学校長	佐久間哲郎
旭川工業高等専門学校長	吉田　　宏	神戸市立工業高等専門学校長	西野種夫
釧路工業高等専門学校教務主事	中島　　敏	釧路工業高等専門学校学生主事	恐神邦秀

委　　員

函館工業高等専門学校学生主事	水上正勝	函館工業高等専門学校体育主任	浦田　　清
〃　体育教官	清野國安	〃　事務部長	小澤　　滋
〃　陸上競技部顧問	菅　　仁志	〃　バスケットボール部男子顧問	小林淳哉
〃　バスケットボール部女子顧問	小林淳哉	〃　バレーボール部男子顧問	奥崎真理子
〃　バレーボール部女子顧問	中川清吾	〃　卓球部顧問	長澤修一
〃　柔道部顧問	清野國安	〃　剣道部顧問	藤原　　隆
〃　硬式野球部顧問	山田　　誠	〃　サッカー部顧問	佐藤友信
〃　テニス部顧問	浜　　克己	〃　バドミントン部顧問	小原寿幸
〃　水泳部顧問	松代周平		
苫小牧工業高等専門学校学生主事	藤井清志	苫小牧工業高等専門学校体育主任	中島広基
〃　体育教官	渡辺　　勲	〃　体育教官	関　　朋昭
〃　事務部長	三浦久夫	〃　陸上競技部顧問	笹村泰昭
〃　バスケットボール部男子顧問	野口　　勉	〃　バスケットボール部女子顧問	野口　　勉
〃　バレーボール部男子顧問	澤田知之	〃　バレーボール部女子顧問	藤島勝弘
〃　ソフトテニス部顧問	小鹿正夫	〃　卓球部顧問	森　　重雄
〃　柔道部顧問	浦島三朗	〃　剣道部顧問	田島　　勲

苫小牧工業高等専門学校硬式野球部顧問	古崎　毅	苫小牧工業高等専門学校サッカー部顧問	坂下俊彦
〃　テニス部顧問	下夕村光弘	〃　バドミントン部顧問	上野征支
〃　水泳部顧問	岩波俊介		
旭川工業高等専門学校学生主事	白井暢明	旭川工業高等専門学校体育主任	明官秀隆
〃　体育教官	小西卓哉	〃　事務部長	山崎千春
〃　陸上競技部顧問	森田　穣	〃　バスケットボール部男子顧問	宮嶋正熙
〃　バレーボール部男子顧問	小西卓哉	〃　バレーボール部女子顧問	小西卓哉
〃　ソフトテニス部顧問	鏡　愼	〃　卓球部顧問	平野友彦
〃　柔道部顧問	秋山俊彦	〃　剣道部顧問	齋藤　清
〃　硬式野球部顧問	古崎　睦	〃　サッカー部顧問	田上龍一
〃　テニス部顧問	片山則昭	〃　バドミントン部顧問	遠藤　剛
神戸市立工業高等専門学校学生主事	藤田利明	神戸市立工業高等専門学校体育主任	岸本三男
〃　体育教官	中川一穂	〃　体育教官	寺田雅裕
〃　体育教官	小森田　敏	〃　事務室長	井出正治
〃　ラグビーフットボール部顧問	森本義則	〃　ラグビーフットボール部顧問	小森田　敏
釧路工業高等専門学校体育教官	三島利紀	釧路工業高等専門学校体育教官	舘岡正樹
〃　事務部長	柴崎正夫	〃　陸上競技部顧問	柴田浩一
〃　バスケットボール部男子顧問	栁川和徳	〃　バレーボール部男子顧問	坂口直志
〃　バレーボール部女子顧問	舘岡正樹	〃　ソフトテニス部顧問	浦家淳博
〃　卓球部顧問	加藤岳人	〃　柔道部顧問	三島利紀
〃　剣道部顧問	渡邊聖司	〃　硬式野球部顧問	舘下徹志
〃　サッカー部顧問	三森敏司	〃　ハンドボール部顧問	草苅敏夫
〃　テニス部顧問	藤本一司	〃　バドミントン部顧問	澤柳博文
〃　庶務課長	中嶋昭雄	〃　会計課長	松本憲一
〃　学生課長	大堀岳満		

第35回全国高等専門学校体育大会実施要項

1．開催趣旨

全国高等専門学校体育大会は，高等専門学校教育の一環として，学生に広くスポーツ実践の機会を与え，技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り，心身ともに健康な学生を育成するとともに高専相互の親睦を図ることを目的として開催する。

2．主　　催

社団法人　全国高等専門学校体育協会
財団法人　日本バスケットボール協会
財団法人　日本バレーボール協会
財団法人　全日本柔道連盟
財団法人　日本サッカー協会
財団法人　日本ラグビーフットボール協会
財団法人　日本ハンドボール協会
財団法人　日本テニス協会
財団法人　日本バドミントン協会

3．後　　援

文部省
㈶日本体育協会，㈶日本陸上競技連盟，㈶日本ソフトテニス連盟，㈶日本卓球協会，
㈶全日本剣道連盟，㈶日本水泳連盟
北海道
北海道教育委員会，兵庫県教育委員会
函館市，旭川市，苫小牧市，釧路市，釧路町
函館市教育委員会，旭川市教育委員会，苫小牧市教育委員会，釧路市教育委員会，釧路町教育委員会，
神戸市教育委員会
㈶北海道体育協会，函館市体育協会，旭川市体育協会，苫小牧市体育協会，釧路市体育協会，
釧路町体育協会
㈶北海道陸上競技協会，北海道バスケットボール協会，北海道バレーボール協会，
北海道ソフトテニス連盟，北海道卓球連盟，㈳北海道柔道連盟，㈶北海道剣道連盟，
㈶北海道サッカー協会，北海道ハンドボール協会，北海道テニス協会，北海道バドミントン協会，
北海道水泳連盟，北海道高等学校野球連盟，兵庫県ラグビーフットボール協会，道北陸上競技協会，
函館柔道連盟，函館テニス協会，函館地区バドミントン協会，函館水泳協会，旭川バレーボール協会，
旭川ソフトテニス連盟，苫小牧地区バスケットボール協会，苫小牧卓球連盟，全釧路剣道連盟，
釧路地区サッカー協会，釧路ハンドボール協会，北海道高等学校野球連盟釧根支部
朝日新聞社，毎日新聞社，読売新聞社，日本経済新聞社，日刊工業新聞社，日本工業新聞社，
北海道新聞社，釧路新聞社，文教ニュース社

4．担 当 地 区　北海道地区

5．担　当　校　釧路工業高等専門学校

6．開　催　校

函館工業高等専門学校，旭川工業高等専門学校，苫小牧工業高等専門学校，釧路工業高等専門学校，神戸市立工業高等専門学校

7．大 会 期 日　平成12年８月５日（土）・６日（日）

（但し，テニスは８月５日（土）～７日（月）・サッカーは８月５日（土）～８日（火））

平成13年１月４日（木）・５日（金）・７日（日）・９日（火）

（冬期は，ラグビーフットボール競技のみ）

8．競技種目・競技日程・競技開催校・競技会場　別紙のとおり

9．大会事務局

第35回全国高等専門学校体育大会事務局を，釧路工業高等専門学校内に置く。

各種目ごとの事務局は当該競技開催校に置く。

10．競 技 方 法　各種目別競技実施要項による。

11．参加資格および参加人数

全国高等専門学校体育大会開催規則（制定　平成６年３月29日総会）及び各種目別競技実施要項によ

12．表　　彰

全国高等専門学校体育大会開催規則（制定　平成６年３月29日総会）及び各種目別競技実施要項によ

13．参加申込方法　　各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

14．競技の組合せ　　各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

15．選手の変更　　各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

16．開会式及び閉会式

(1) 総合開会式は実施しない。

(2) 種目別開会式及び閉会式については，各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

17．打合せのための時間

各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

18. 分担金及び参加料

(1) 分　担　金

分担金は，１校当たり225,000円とし，別途，社団法人全国高等専門学校体育協会事務局から請求書が送付されるので，それにより社団法人全国高等専門学校体育協会事務局に納付する。

(2) 参　加　料

ア．団体戦は，各種目別競技実施要項記載の金額とする。１チーム当たりの金額は，「1,500円×最大登録選手数」により積算する。（ただし，ラグビーフットボールは，１チーム当たり6,000円とする。）

イ．個人戦は，選手１人当たり1,500円とする。

ウ．団体戦に参加した選手が個人戦に参加する場合は，重複して参加料は徴収しない。

エ．納付は，各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。なお，既納の参加料は返還しない。

19. 宿　　舎

宿舎の斡旋を希望する学校には，競技開催校で斡旋する。

20. そ　の　他

(1) 選手の競技中の事故については，主催者側で応急処置を施すが，その後の処置は当該校で行うこと。

(2) 選手は，必ず健康保険証又はそれに代わるものを持参すること。

(3) 日本体育・学校健康センター所定の用紙を各学校で持参すること。

競技種目・競技日程・開催校・競技会場一覧表

競技種目	競技日程	開催校	競技会場
陸上競技	平成12年 8月6日（日）	旭川工業高等専門学校	旭川市花咲スポーツ公園 陸上競技場
バスケットボール 男子	平成12年 8月5日（土） 8月6日（日）	苫小牧工業高等専門学校	苫小牧工業高等専門学校
バスケットボール 女子	平成12年 8月5日（土） 8月6日（日）	苫小牧工業高等専門学校	苫小牧工業高等専門学校
バレーボール 男子	平成12年 8月5日（土） 8月6日（日）	旭川工業高等専門学校	旭川市総合体育館
バレーボール 女子	平成12年 8月5日（土） 8月6日（日）	旭川工業高等専門学校	旭川市総合体育館
ソフトテニス	平成12年 8月5日（土） 8月6日（日）	旭川工業高等専門学校	旭川市花咲スポーツ公園 テニスコート （雨天時）旭川実業高等学校
卓球	平成12年 8月5日（土） 8月6日（日）	苫小牧工業高等専門学校	苫小牧駒澤大学体育館
柔道	平成12年 8月6日（日）	函館工業高等専門学校	函館工業高等専門学校 第1体育館
剣道	平成12年 8月6日（日）	釧路工業高等専門学校	釧路工業高等専門学校 第2体育館
硬式野球	平成12年 8月5日（土） 8月6日（日）	釧路工業高等専門学校	A会場：釧路市民球場 B会場：釧路市民球場付属球場
サッカー	平成12年 8月5日（土）～ 8月8日（火）	釧路工業高等専門学校	A会場：釧路市民陸上競技場 B会場：釧路工業高等専門学校サッカー場
ラグビーフットボール	平成13年 1月4日(木)・5日(金) 7日(日)・9日(火)	神戸市立工業高等専門学校	神戸総合運動公園陸上競技場
ハンドボール	平成12年 8月5日（土） 8月6日（日）	釧路工業高等専門学校	A会場：釧路町総合体育館 B会場：釧路公立大学体育館
テニス	平成12年 8月5日（土）～ 8月7日（月）	函館工業高等専門学校	グリーンピア大沼 テニスコート （雨天時）グリーンピア大沼体育館
バドミントン	平成12年 8月5日（土） 8月6日（日）	函館工業高等専門学校	函館市民体育館
水泳	平成12年 8月5日（土）	函館工業高等専門学校	函館市民プール

第35回 全国高等専門学校体育大会

第24回 全日本高等専門学校バドミントン選手権大会

歓迎のことば



北海道バドミントン協会
会長 小林純幸

この度、全国各地区の予選を勝ち抜かれた選手諸君、監督並びに役員の方々をお迎えし、第24回全国高等専門学校バドミントン選手権大会が、函館市民体育館においてかくも盛大に開催されますことは、誠に喜ばしくご同慶の至りであります。

本大会は、選手諸君が日頃の練習成果を十分に発揮し、心身の健全な成長を図る場であるとともに、相互の親睦や交流をより一層深める場でもあります。

どうか、この貴重な機会を通して培った全国の仲間との友情や交流の輪を今後の人生を生かすとともに、本大会が生涯のよき思い出となりますことを心より期待しております。

終わりになりましたが、本大会の益々のご発展を期待するとともに、本大会の開催に当たり、ご尽力を賜りました関係各位に対し、衷心より感謝を申し上げ、歓迎のあいさつといたします。

歓迎のあいさつ



函館工業高等専門学校
校長　東　　市郎

第35回全国高等専門学校体育大会・第24回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会が，ここ函館の地を主会場に開催されますことは，まことにご同慶に堪えません。

全国各地区の厳しい予選を勝ち抜かれ，晴れて代表の座を手にした選手諸君は，日頃の練習成果を存分に発揮され，全力を尽くして正々堂々と試合をし輝かしい成績を挙げられますことを心より期待しております。

ご承知のとおり，日本最初の貿易港の一つとして140有余年の長い歴史を持ち，いち早く西欧の文化を取り入れ発展してきた国際観光都市・函館は，当時の面影を数多く残す情緒豊かな街であります。函館山からの世界一の夜景のほか，星形城郭の特別史跡五稜郭跡など多くの自然と文化遺産を有し，温暖な気候風土に恵まれた街です。この恵まれた街で相互の親睦や交流をより一層深められ，本大会で培った友情や交流の輪を，今後の人生の中に生かされることを切に希望いたします。

終わりになりましたが，本大会の益々のご発展を期待するとともに，本大会の開催に当たり，ご尽力を賜りました関係各位に対し，衷心より感謝を申し上げ，あいさつといたします。

大　会　日　程

［会　議］　8月4日（金）16：00～　代表者会議

［競　技］　函館市民体育館

8月5日（土）8：00～　開　場
9：00～　開会式
9：30～　競技開始　団体戦
男子個人戦複
女子個人戦複

8月6日（日）9：00～　開　場
9：30～　競技開始　男子個人戦単
女子個人戦単
競技終了後　閉会式

式　典　次　第

開　会　式

1　選手入場
2　開式のことば
3　開会宣言
4　優勝杯返還・レプリカ授与
5　優勝楯返還・レプリカ授与
6　開会のことば
7　歓迎のことば
8　来賓あいさつ
9　競技役員長注意
10　選手宣誓
11　閉式のことば
12　選手退場

閉　会　式

1　選手整列
2　開式のことば
3　成績発表
4　表彰
5　閉会のことば
6　閉会宣言
7　閉式のことば
8　選手退場

大　会　役　員

大会名誉会長	(財)日本バドミントン協会会長	桜内義雄
大会名誉副会長	(財)日本バドミントン協会副会長	錦貫民輔
	〃	清水務
	〃	三宅祐司
	北海道バドミントン協会会長	小林純幸
大会会長	(社)全国高等専門学校体育協会会長	生越久靖
大会副会長	(財)日本バドミントン協会専務理事	遠井稔男
	(社)全国高等専門学校体育協会	
	バドミントン競技専門部長	砂本順三
	北海道バドミントン協会副会長	木本由孝
	〃	橋浪蔵
	〃	子飼栄一
	〃	千葉英守
	〃	武田哲
	〃	青山繁樹
	〃	横山真
	〃	島中貞夫
	〃	笠井武彰
	函館地区バドミントン協会会長	加藤清郎
顧問	北海道知事	堀達也
	北海道教育委員会教育長	鎌田昌市
	(財)北海道体育協会会長	堂垣内尚弘
	函館市長	井上博司
	函館市教育委員会教育長	金山正智
	函館市体育協会会長	柳沢勝
	(財)日本バドミントン協会顧問	佐々木洋平
	〃	愛知和男
	〃	岩崎純三
	〃	吉川芳男
	〃	沓掛哲男

顧　　問	㈶日本バドミントン協会顧問	森	善朗
	〃	林	義郎
	〃	関谷	勝嗣
	〃	森田	一
	〃	久間	章生
	〃	石渡	俊一
	〃	真藤	垣
	〃	奈良岡	健三
	〃	玉手	庸
	〃	伊藤	基記
	〃	加藤	三夫
	北海道バドミントン協会顧問	奈良岡	健三
	〃	加藤	清郎
	〃	小向	利威
	〃	金栄	喜彦
	〃	山腰	修司
	〃	瀬能	晃
	〃	中村	稔
	〃	松永	盛将
	〃	杉山	昭彦
	〃	伊東	良孝
	〃	秋山	和範
	〃	松浦	勤
	〃	横山	敏
	〃	伊勢	武
	〃	藤井	猛
参　　与	㈶日本バドミントン協会参与	戸田	清一
	〃	浜中	誠
	〃	福岡	幸一
	〃	伊豆	晃
	〃	岡本	武利
	〃	本郷	節生
	〃	今北	基夫

参与	(財)日本バドミントン協会参与	菊池利明
	〃	野村嘉明
	〃	日高壮
	〃	渡辺成雄
	〃	伊藤鉱一
	〃	子飼栄一
	〃	里見光徳
	〃	増田保夫
	〃	山根怜
	〃	小出沢悟
	〃	佐藤芳朗
	〃	浅岡武
	〃	木村寛
	〃	北義一
	〃	境三徳
	〃	花岡牧夫
	〃	岡村英男
	〃	川島一郎
	〃	富田善明
	〃	板垣隆房
	〃	星野忠男
	〃	藤本滋
	〃	藤原和文
	〃	加藤寛治
	〃	原紀征
	〃	地崎昭宇
	〃	千葉健夫
大会委員長	釧路工業高等専門学校長	芳村仁
大会実行委員長	函館工業高等専門学校長	東市郎
大会副委員長	(財)日本バドミントン協会理事 北海道バドミントン協会理事長	岩崎昭郎
	函館工業高等専門学校学生主事	水上正勝
	(社)全国高等専門学校体育協会 バドミントン競技専門部委員長	平木弘一

大会役員

(財)日本バドミントン協会理事	浅岡　武
〃	関根義雄
〃	岩崎昭郎
〃	高橋英夫
〃	上原信彦
〃	竹林克彦
〃	加藤博司
〃	寺崎由雄
〃	神沢暁
〃	西野昌明
〃	工藤勇参
〃	山田順一郎
〃	佐藤武人
〃	油井秀男
〃	鈴木勝之
(財)日本バドミントン協会監事	清水規矩雄
〃	高橋重夫
〃	福田　武
北海道バドミントン協会副理事長	西村幸衛
〃	上山功夫
〃	森田精一
〃	野川　豊
〃	島中玲子
函館地区バドミントン協会副会長	兼平四郎
〃	田邊康夫
〃	天野暉彦
〃	松田重和
(社)全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部委員	小原寿幸
〃	加藤治雄
〃	太田道也
〃	所　哲郎
〃	伊藤直人
〃	若宮正明
〃	西谷郁夫
〃	龍頭信二

競　技　役　員

競技役員長	北海道バドミントン協会競技委員長	笹森　剛
総務部長	函館工業高等専門学校教官	浦田　清
総務副部長	函館工業高等専門学校学生課長	山岡正司
	北海道地区高等専門学校バドミントン競技専門部委員	小原寿幸
	函館地区バドミントン協会理事長	福田侑司
	函館地区バドミントン協会副理事長	佐々木堅治
	函館地区バドミントン協会副理事長	小松登志枝

総務委員	古俣和直	溝江忠昭	山村豊	小島栄樹
	酒井幸市	石若裕子	大場允雄	蔵多一哉
	日野誠	小林淳哉	上野孝	渡辺力
	今野利美	福村美保子	丹野浩	竹内孝
	小澤聖治	石田豊	折原敦子	吉田こずえ
	山崎レイ子	中川めぐみ	渡辺和代	松枝みどり
	藤田恭子	山名田君夫	間瀬幸子	鈴木房子
	三浦広子			

競技審判部長	北海道バドミントン協会審判委員長	金田隆一

競技審判副部長	㈳全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部委員長	平木弘一
	函館地区バドミントン協会審判委員長	江刺家大介
	函館地区バドミントン協会競技委員長	能登谷芳之
	函館地区バドミントン協会競技副委員長	藤島百子
	函館地区バドミントン協会競技委員	十倉久子
	函館地区バドミントン協会競技委員	大山裕之

競技審判委員　三上　明（主任）

高橋信行	福井浩之	窪田　薫	葛巻礼滋
仙石義博	高村涼子	横川寿輔	西村　晃
諏訪内信二	松田勝則	岩館利男	小石秀一
立中大輔	小鹿志厚	平山智広	手塚悠輔
辻村昌彦	寺本公彦	野村忠大	若林邦明
下中利之	市田悦雄	池田公貴	永田悦子
橋場孝啓	三品美智子	中田順子	

審判補助員　市田悦雄（主任）　他48名

北海道函館工業高等学校バドミントン部員

北海道函館水産高等学校バドミントン部員

函館大妻高等学校バドミントン部員

函館遺愛女子高等学校バドミントン部員

第35回 全国高等専門学校体育大会
第24回 全日本高等専門学校バドミントン選手権大会

実　施　要　項

1．主　　催　(財) 日本バドミントン協会，(社) 全国高等専門学校体育協会

2．主　　管　北海道バドミントン協会，函館地区バドミントン協会
(社) 全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部
函館工業高等専門学校

3．後　　援　文部省，(財) 日本体育協会，北海道，北海道教育委員会
函館市，函館市教育委員会，函館市体育協会

4．大会期日　平成12年８月５日（土）・６日（日）

5．大会開場　函館市民体育館
〒042－0932　北海道函館市湯川町１－32－２
ＴＥＬ　0138－57－3141

6．競技種目　団体戦　男子学校対抗
個人戦　男子・女子　各単・複

7．団体戦のチーム構成人員
監督，コーチ，マネージャー各１名，選手４～８名とする。
ただし，欠員を生じ３名以下になった場合は失格とする。

8．参加資格　(1) 平成12年度 (財) 日本バドミントン協会に登録を完了した者で，学校長が出場を認めた者。
(2) 団体戦，個人戦とも各地区から選抜されたチーム又は選手とし，これに開催校の出場を加える。

地区割り，選抜数および開催校出場枠は下記のとおりとする。

地区名	団体戦	男子個人戦		女子個人戦	
		単	複	単	複
北海道	１チーム	１名	１組	２名	２組
東北	１チーム	２名	２組	２名	２組
関東・信越	２チーム	２名	２組	２名	２組
東海・北陸	２チーム	２名	２組	２名	２組
近畿	１チーム	２名	２組	２名	２組
中国	１チーム	２名	２組	２名	２組
四国	１チーム	２名	２組	２名	２組
九州	２チーム	２名	２組	２名	２組
開催校	１チーム	１名	１組	－－	－－
計	12チーム	16名	16組	16名	16組

9．競技規則　平成12年度（財）日本バドミントン協会競技規則並びに本選手権大会実施要項による。

10．競技方法　(1) 各種目ともトーナメント戦方式により優勝を決定する。なお，３位決定戦は行わない。
(2) 団体戦は１複２単とし，複から試合を行う。また，同一選手が複・単を兼ねることはできない。

11. 組　合　せ　組合せは，北海道バドミントン協会及び本選手権大会実行委員会の責任において，７月25日（火）に作成する。

12. 表　　彰　団体戦，個人戦とも第１位から第３位までを表彰する。

13. 参加料及び納入方法　団体１チーム当たり12,000円，選手（団体戦出場者を除く）１人当たり1,500円とし，参加申込みと同時に次の振込口座へ納入すること。なお，既納の参加料は返還しない。

振込口座

金融機関名　北洋銀行湯川支店　　**口座種別**　普通預金　　**口座番号**　3286543

口　座　名　第35回全国高専体育大会事務局

会計担当　酒井　彰

14. 参加申込　(1) 申込期限　平成12年７月21日（金）必着

(2) 申込先　〒042－8501
北海道函館市戸倉町14番１号
函館工業高等専門学校学生課
第35回全国高等専門学校体育大会
第24回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会事務局
ＴＥＬ（0138）59－6334　ＦＡＸ（0138）59－6330

(3) 申込方法　所定の参加申込み用紙に必要事項を記入の上，２部作成し，上記事務局宛送付すること。

15. 代表者会議　(1) 日　　時　平成12年８月４日（金）午後４時

(2) 場　　所　函館市民体育館　会議室

(3) 出席者　監督及び主将，大会役員等

16. 開会式及び閉会式　(1) 開会式　平成12年８月５日（土）午前９時　競技会場で行う。

(2) 閉会式　平成12年８月６日（日）競技終了後，同会場で行う。
（競技終了予定時刻午後２時ごろ）

17. 宿　　舎　別途通知し斡旋する。

18. そ　の　他　(1) 服　装

① 競技時の服装は，白色又は㈶日本バドミントン協会審査合格品とする。

② 上衣の背面中央に必ずゼッケンを付けること。ゼッケンは，縦15㎝，横30㎝程度の大きさで学校名及び選手名を日本文字で明記すること。ただし，上衣に学校名が明記されている場合には選手名のみでよい。

③ 開会式，閉会式に参加するときの服装は，競技時の服装（ユニフォーム）又は，トレーニングウェアとする。

(2) 応急処置等

① 試合中の負傷については，大会本部で応急処置をするが，その後の処置は各学校及び各自で行うこと。

② 健康保険証等は，各自で準備しておくこと。

③ 日本体育・学校健康センター所定の用紙を各学校で持参すること。

(3) 練　習

① 日　時　８月４日（金）午後１時から午後５時まで

② 場　所　函館市民体育館

競技運営上の注意事項

1．本大会は，現行㈶日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規定により実施いたします。

2．選手は試合予定時刻の30分前（各日とも第１試合は開始予定時刻の15分前）までに会場に到着しておいてください。

3．競技進行の都合上，試合時刻又は試合コートを変更することがありますので，本部の放送に注意してください。

4．本部がオーダー用紙の提出あるいは試合開始の放送を行った後，10分経過してもこれに従わない場合には，原則として棄権とみなします。

5．服装については，大会実施要項の通りとします。

6．全試合において，試合前３分間の練習時間を設けます。ただし，コートに到着してからの時間とします。

7．団体戦は，単・複同時に進行します。また，準決勝からは２試合先取をもって打ち切りとします。

8．連続した試合については，10分間の休息時間を設けます。

9．団体戦には，コートサイドにベンチを設けます。個人戦においては，監督ベンチを設けない予定です（全国高校総体等に合わせました）が，ご要望があれば代表者会議で決めさせていただきます。

10．試合中はコート外に出ないようにしてください。汗拭きタオル・ラケットなどは所定の位置のかごの中にいれておいてください。

11．競技区域内には出場選手及び監督・コーチ以外は立ち入らないでください。

12．閉会式は競技終了後直ちに行います。

13．所持品は各自の責任において管理してください。

14．体育館使用上の注意事項は厳守してください。

審判上の注意事項

1．審判は，現行㈶日本バドミントン協会競技規則並びに㈶日本バドミントン協会公認審判員規定によって運営いたします。

2．サービスジャッジはおきませんが，プレーヤー並びに代表者から要請があれば主審の判断でつけます。

3．ファイナルの場合は，５分間以内のインターバルを設けます。

4．事故等の場合，主審及び競技役員長の審議の上，試合の継続又は棄権等の決定をします。

5．飛距離などシャトルの良否については主審が判断します。

6．汗などでコートが濡れた場合には，主審に告げてください。補助学生に処置させます。

体育館使用上の注意事項

1．当体育館において，学生としてのマナーに充分心掛けてください。

2．放送に注意を払い，集合に遅れないようにしてください。
なお，ホール及び空きコートでの練習は一切禁止します。

3．貴重品，その他の所持品は各自の責任において管理してください。

4．２階の観覧席は地区ごとの表示をしてありますので，その席を御利用ください。

5．全館土足禁止です。体育館入口で運動靴に履き替えてください。

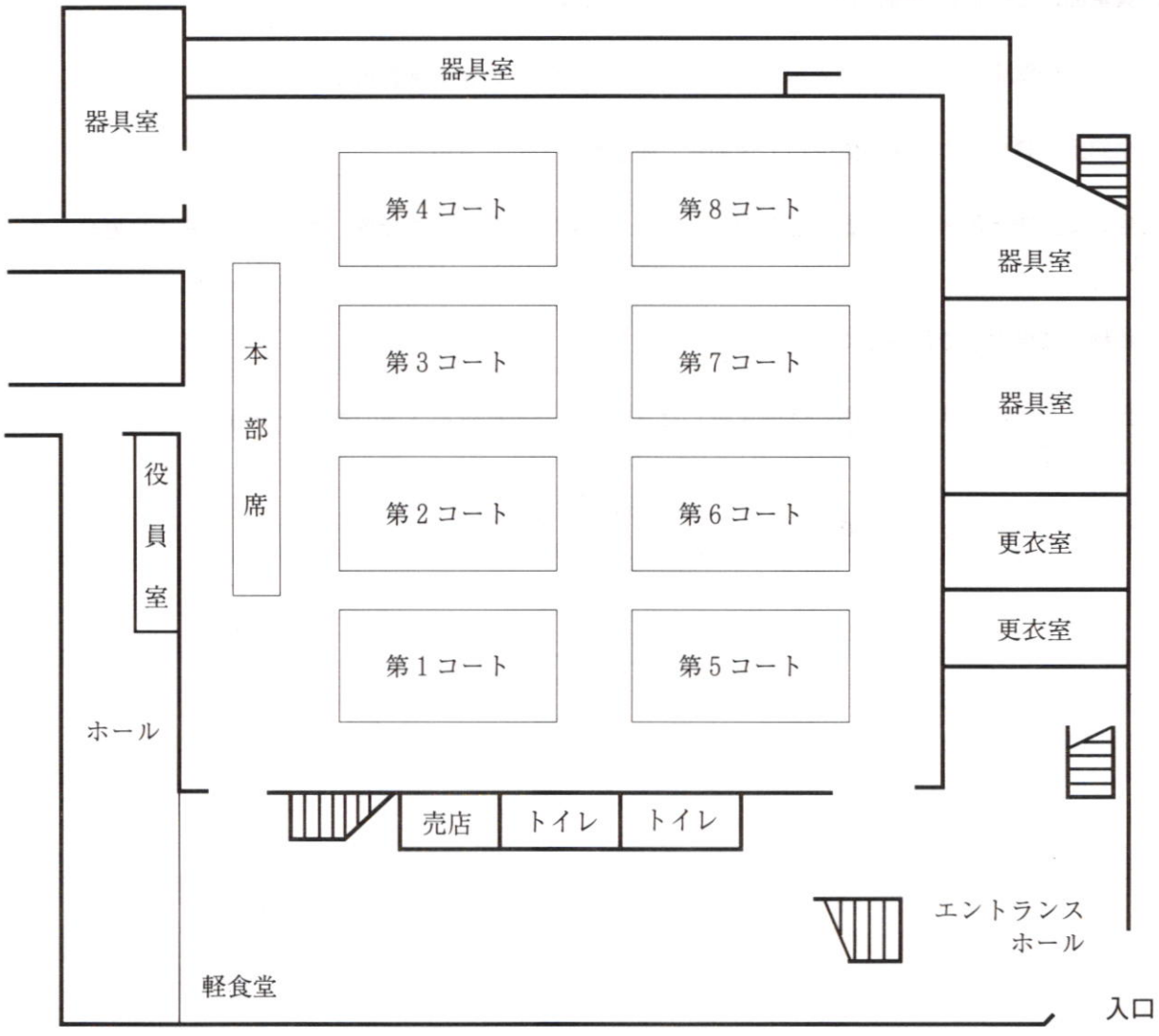
6．生ゴミ，空き缶・瓶の後始末をお願いします。会場に各ゴミ箱を設置しますので，そこに処分してください。

7．着替えは更衣室で行ってください。

8．会場におけるフラッシュ撮影は御遠慮ください。また，携帯電話等の着信音が鳴らないように十分お気を付けください。

9．シャワー・ロッカーは有料です。

競 技 会 場 図

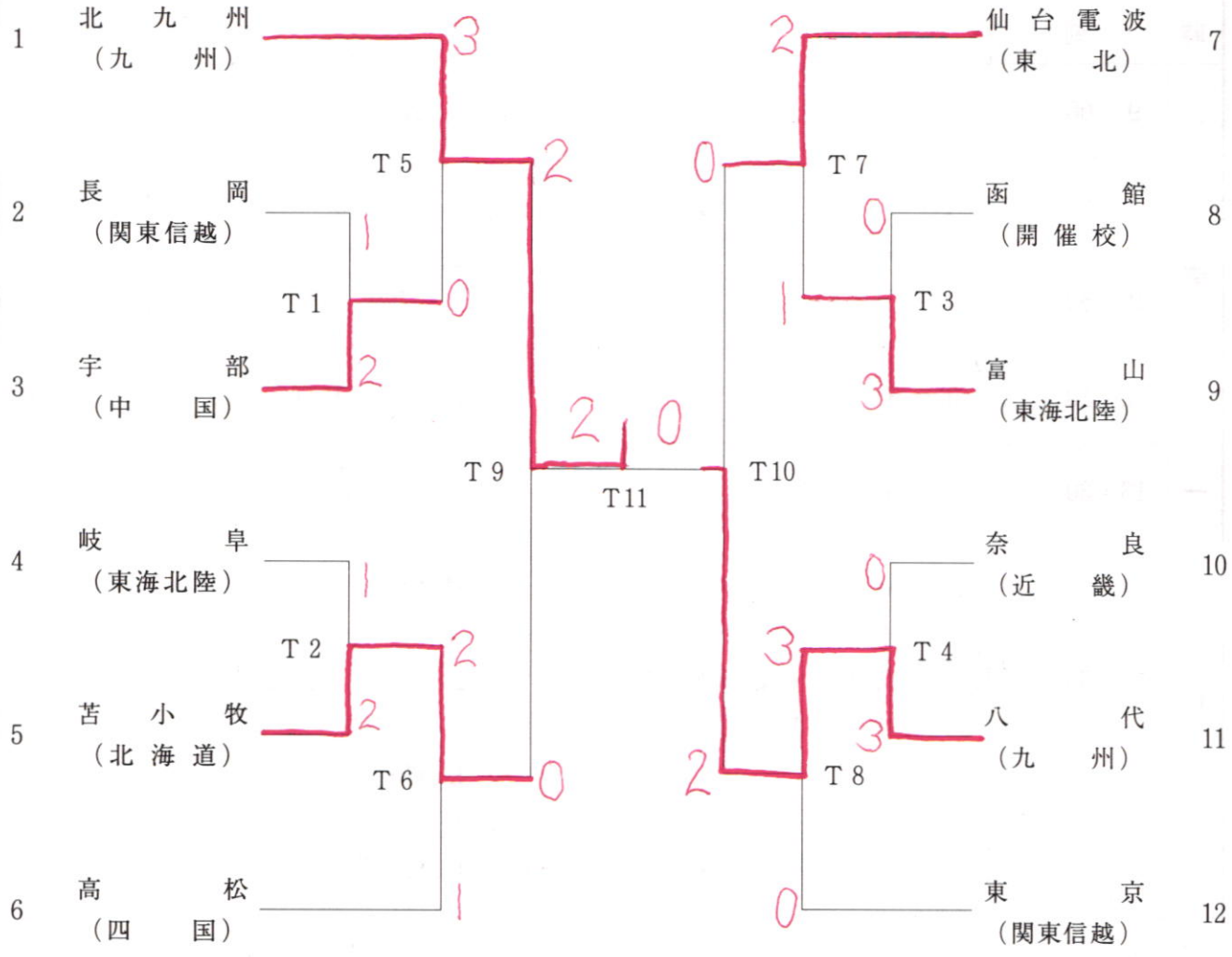

器具室
器具室
第４コート
第８コート
器具室
本部席
第３コート
第７コート
器具室
役員室
第２コート
第６コート
更衣室
更衣室
第１コート
第５コート
ホール
売店
トイレ
トイレ
エントランス
ホール
軽食堂
入口

タイムテーブル

開始予定時刻		1	2	3	4		5	6	7	8
第一日	9：00	開会式								
	9：30	T－1		T－2			T－3		T－4	
	10：50	T－5		T－6			T－7		T－8	
	12：10	T－9		T－10			LD1	LD2	LD3	LD4
	13：30	T－11					LD5	LD6	LD7	LD8
	14：50	MD1	MD2	MD3	MD4		MD5	MD6	MD7	MD8
	15：30	MD9	MD10	MD11	MD12		LD9	LD10	LD11	LD12
	16：10	MD13	MD14				LD13	LD14		
	16：50	MD15					LD15			
第二日	9：30	MS1	MS2	MS3	MS4		MS5	MS6	MS7	MS8
	10：10	LS1	LS2	LS3	LS4		LS5	LS6	LS7	LS8
	10：50	MS9	MS10	MS11	MS12		LS9	LS10	LS11	LS12
	11：30	MS13	MS14				LS13	LS14		
	12：10	MS15					LS15			
	13：10	閉会式								

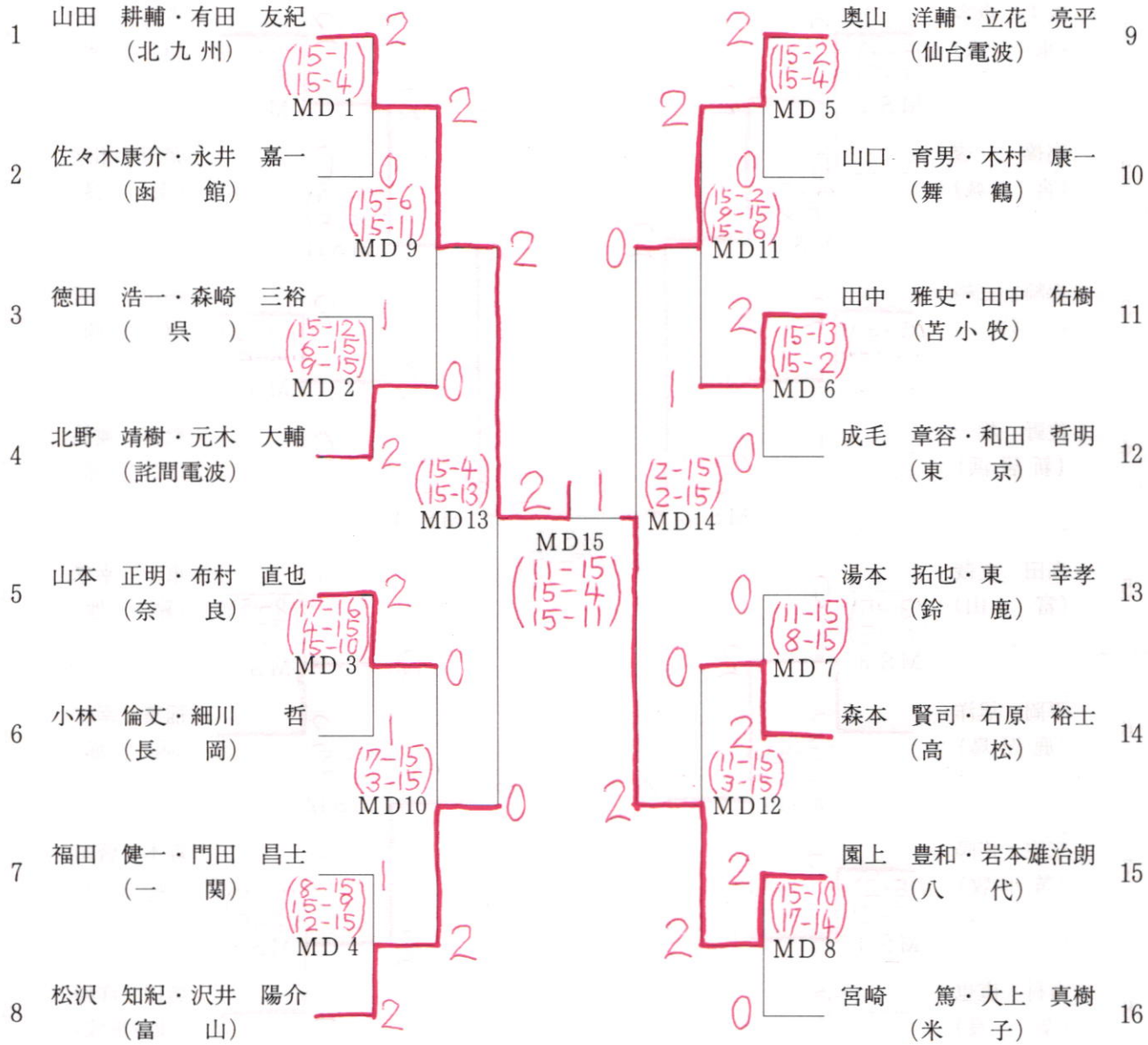
ただし，Tは団体戦，MDは男子個人戦複，MSは男子個人戦単，LDは女子個人戦複，LSは女子個人戦単を示す。

団　体　戦（T）



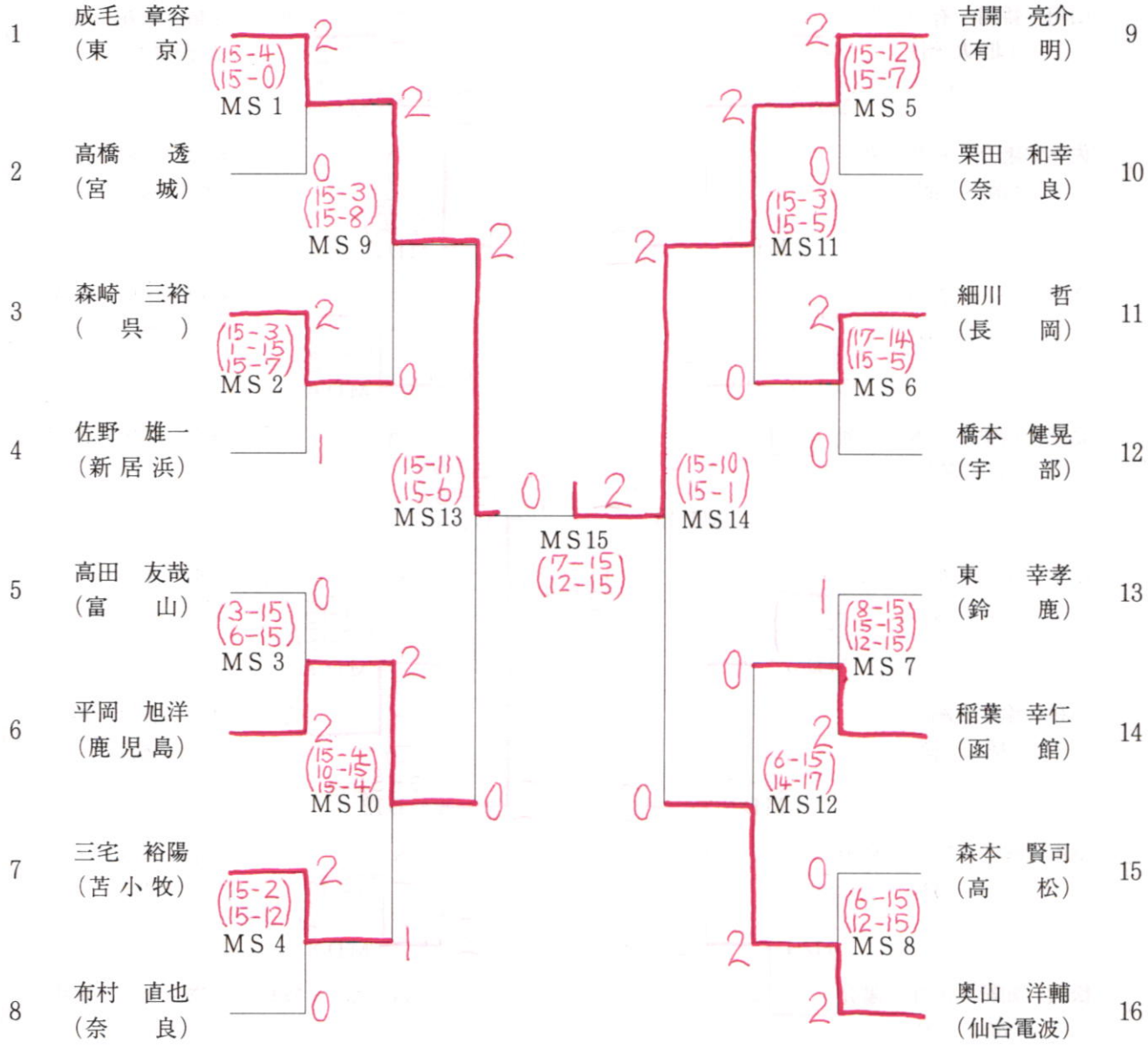
優勝	北九州（九州）	二位	八代（九州）	三位	苫小牧（北海道）
					仙台電波（東北）

男子個人戦複(MD)



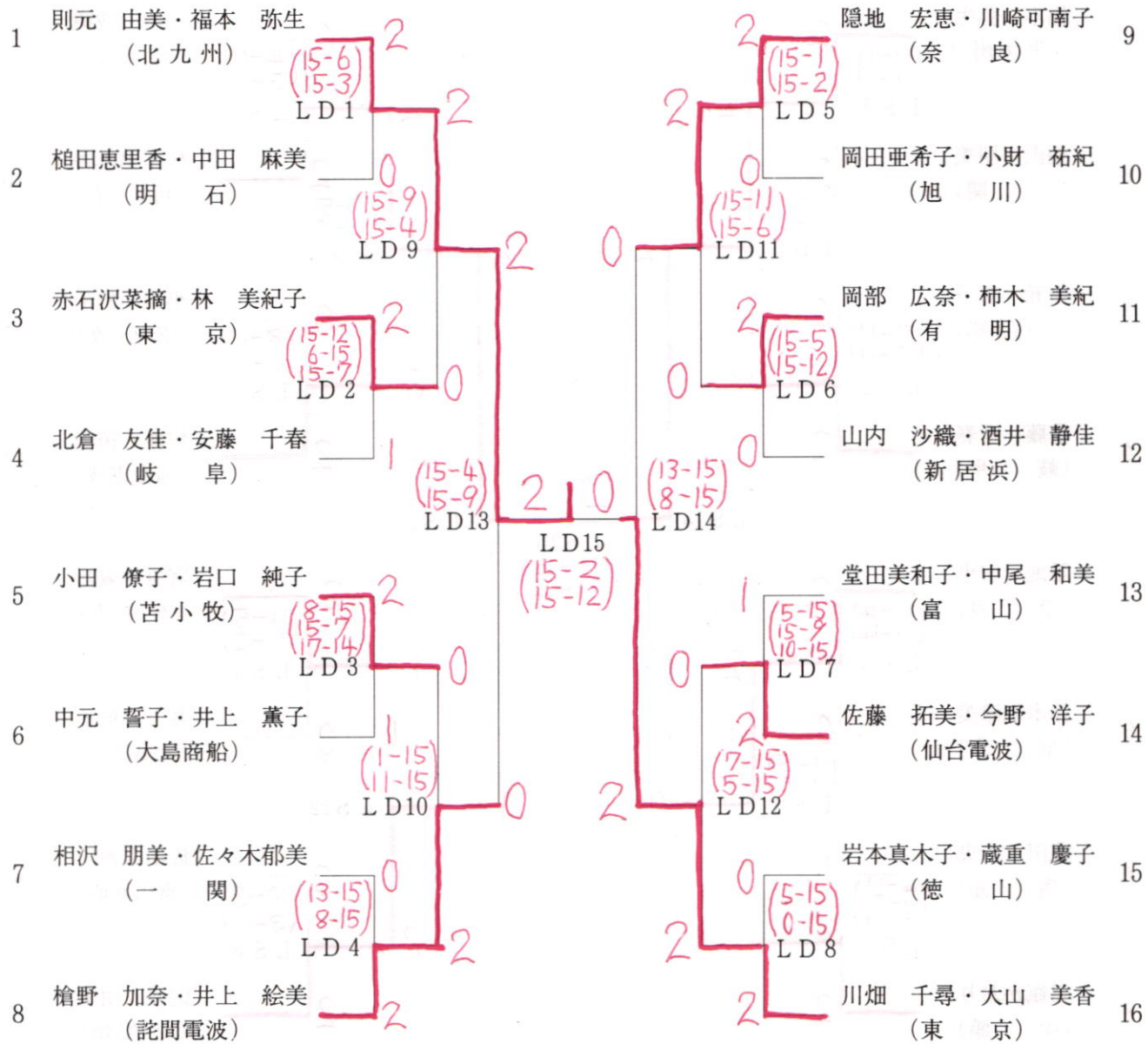
優勝	山田耕輔・有田友紀 (北九州)	二位	園上豊和・岩本雄治朗 (八代)	三位	松沢知紀・沢井陽介 (富山)
					奥山洋輔・立花亮平 (仙台電波)

男子個人戦単(MS)



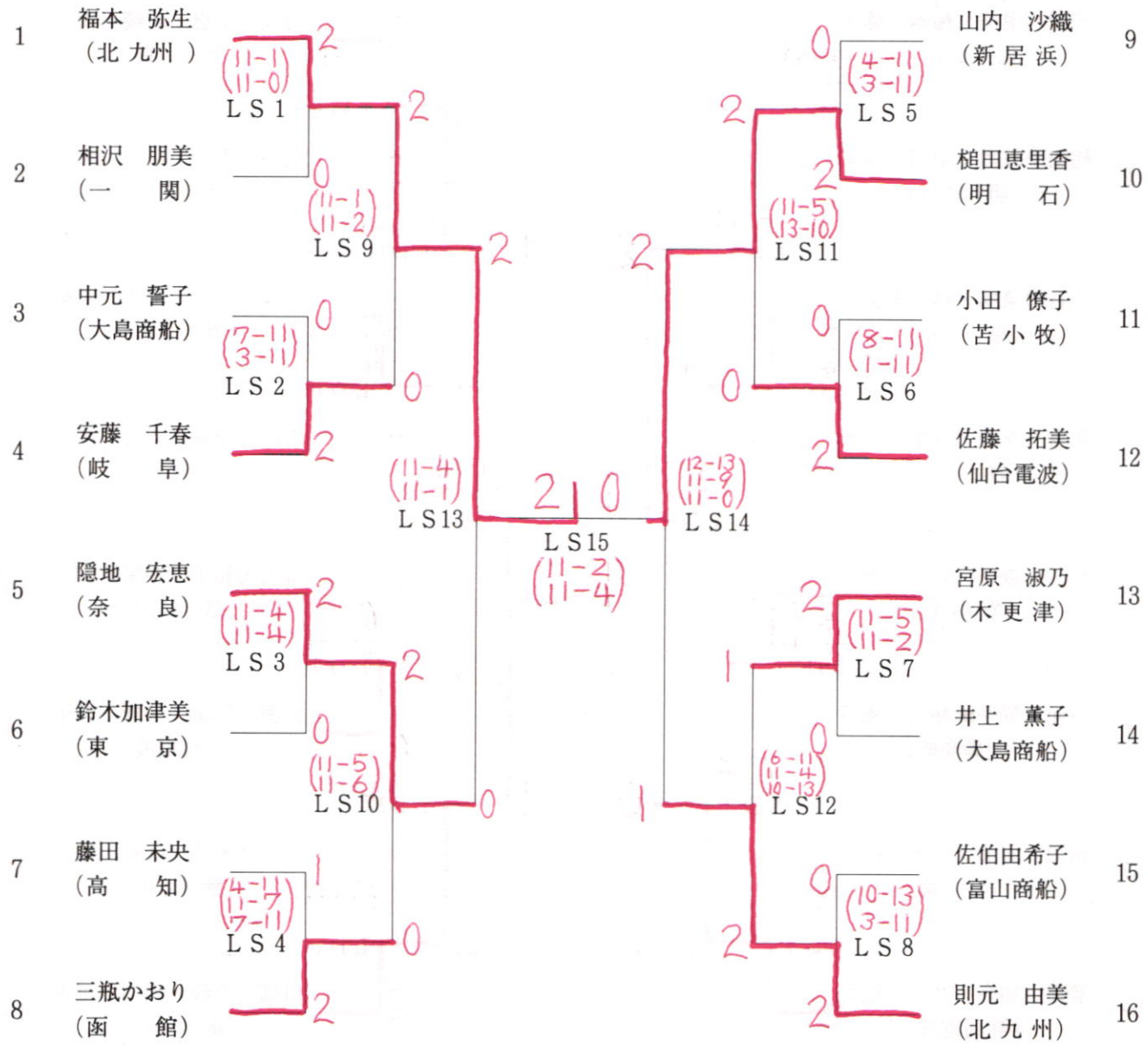
優勝	吉開亮介 (有明)	二位	成毛章容 (東京)	三位	平岡旭洋 (鹿児島)
					奥山洋輔 (仙台電波)

女子個人戦複（LD）



優勝	則元由美・福本弥生 （北九州）	二位	川畑尋・大山美香 （東京）	三位	槍野加奈・井上絵美 （詫間電波）
					隠地宏恵・川崎可南子 （奈良）

女子個人戦単(LS)



優勝	福本弥生 (北九州)	二位	槌田恵里香 (明石)	三位	隠地宏恵 (奈良)
					則元由美 (北九州)

選　手　名　簿

北海道地区

開＝開催校出場

学校名	函館工業高等専門学校
監督	小原寿幸
コーチ	今野利美
マネージャー	大井川可奈

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	稲葉幸仁	5	○		開
2	佐々木康介	5	○	開	
3	坂尻篤彦	5	○		
4	高坂匠	2	○		
5	田中俊行	2	○		
6	永井嘉一	2	○	開	
7	葛西真吾	2	○		
8	三橋良太	1	○		

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	三瓶かおり	3			①

学校名	苫小牧工業高等専門学校
監督	三河佳紀
コーチ	
マネージャー	黒島圭

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	田中雅史	5	○	①	
②	中村憲亙	4	○		
3	三宅裕陽	3	○		①
4	田中佑樹	3	○	①	
5	宮崎勝也	3	○		
6	木下修	3	○		
7	大澤壮史	2	○		
8	小川覚徳	2	○		

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	小田僚子	4		①	②
2	岩口純子	3		①	

学校名	旭川工業高等専門学校
監督	遠藤剛
コーチ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	岡田亜希子	5		②	
2	小財祐紀	4		②	

東北地区

学校名	一関工業高等専門学校
監督	加藤治雄
コーチ	
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	福田健一	4		②	
2	門田昌士	4		②	

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	相沢朋美	5		①	②
2	佐々木郁美	2		①	

学校名	宮城工業高等専門学校
監督	生田信之
コーチ	昆野良久
マネージャー	菊地佐月

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	高橋透	5			②

学校名	仙台電波工業高等専門学校
監督	佐藤敏行
コーチ	鈴木真佐也
マネージャー	佐藤翠

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	奥山洋輔	5	○	①	①
2	立花亮平	5	○	①	
3	安達智洋	5	○		
4	千葉晴貴	4	○		
5	佐藤大地	4	○		
6	佐々木康徳	4	○		
7	松尾健太郎	3	○		
8	梅津佳晃	2	○		

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	佐藤拓美	2		②	①
2	今野洋子	1		②	

関東信越地区

学校名	木更津工業高等専門学校
監督	平安隆雄
コーチ	橋本勉
マネージャー	東島理恵子

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	宮原淑乃	1			①

学校名	東京工業高等専門学校
監督	西村亮
コーチ	佐々木厚
マネージャー	松永泰

	男子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
①	堀込俊郎	5	○		
2	村川智洋	5	○		
3	成毛章容	4	○	①	①
4	和田哲明	4	○	①	
5	小嶋靖弘	4	○		
6	吉川大輝	3	○		
7	小峰真人	3	○		
8	篠田淳	3	○		

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	川畑千尋	5		①	
2	赤石沢菜摘	5		②	
3	林美紀子	4		②	
4	大山美香	3		①	
5	鈴木加津美	3			②

学校名	長岡工業高等専門学校
監督	樺澤辰也
コーチ	田辺奈津美
マネージャー	田中陽子

	男子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	小林倫丈	5	○	②	
2	細川哲	5	○	②	②
3	原祐一郎	3	○		
4	渡辺淳	3	○		
5	安部和貴	2	○		
6	板屋大吾	2	○		
7	木村亮一	2	○		
8	冨樫英幸	2	○		

東海北陸地区

学校名	富山工業高等専門学校
監督	安田賢生
コーチ	永森雄司
マネージャー	中野佐保

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	松沢知紀	4	○	①	
2	沢井陽介	4	○	①	
3	出水康仁	4	○		
4	志賀誠	3	○		
5	高田友哉	3	○		①
6	新村六平	2	○		
7	中西亮	1	○		
8	大石勇佑	1	○		

監督	山腰等
コーチ	中川いずみ
マネージャー	林綾子

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	堂田美和子	4		①	
2	中尾和美	3		①	

学校名	岐阜工業高等専門学校
監督	水野和憲
コーチ	柘植正章
マネージャー	丹下裕季子

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	中川正也	4	○		
2	水上琢允	4	○		
3	福井孝弘	3	○		
4	細野洋介	3	○		
5	安藤恭平	3	○		
6	三輪了	3	○		
7	棚橋栄次	3	○		
8	河原健司	3	○		

監督	橋浦正史
コーチ	井上恵美
マネージャー	野々村恵

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	安藤千春	1		①	①
2	北倉友佳	2		①	

学校名	富山商船高等専門学校
監督	新開純子
コーチ	
マネージャー	八倉巻絵美

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	佐伯由希子	1			①

学校名	鈴鹿工業高等専門学校
監督	奥野正明
コーチ	
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	東幸孝	2		①	①
2	湯本拓也	3		①	

近畿地区

学校名	舞鶴工業高等専門学校
監督	伊藤直人
コーチ	
マネージャー	大村朋裕

	男子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	山口育男	5		②	
2	木村康一	2		②	

学校名	明石工業高等専門学校
監督	松井誠吾
コーチ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	槌田恵理香	3		②	②
2	中田麻美	2		②	

学校名	奈良工業高等専門学校
監督	中田敏夫
コーチ	押田至啓
マネージャー	木村友子

	男子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	山本正明	5	○	①	
2	布村直也	5	○	①	①
③	栗田和幸	3	○		②
4	北村聡	3	○		
5	大谷一斗	2	○		
6	中原慎介	2	○		
7	笹井謙一	1	○		
8	神宮司啓太	1	○		

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	隠地宏恵	3		①	①
2	川崎可南子	3		①	

中国地区

学校名	米子工業高等専門学校
監督	川邊　博
コーチ	谷本明逸
マネージャー	上田俊介

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	宮崎　篤	4		①	
2	大上真樹	4		①	

学校名	宇部工業高等専門学校
監督	重田　實
コーチ	石川好夫
マネージャー	高井美枝

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	橋本健晃	5	○		①
2	高橋祐樹	5	○		
3	高下怜志	5	○		
4	渡壁謙一郎	5	○		
5	田中洋史	5	○		
6	古田一憲	5	○		
7	福井豪人	4	○		
8	千々松夢樹	4	○		

学校名	呉工業高等専門学校
監督	若宮正明
コーチ	
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	森崎三裕	5		②	②
2	徳田浩一	5		②	

学校名	徳山工業高等専門学校
監督	櫻本逸男
コーチ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	岩本真木子	5		①	
2	蔵重慶子	5		①	

学校名	大島商船高等専門学校
監督	古本啓二
コーチ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	井上薫子	5		②	①
2	中元誓子	5		②	②

四国地区

学校名	高松工業高等専門学校
監督	松原三郎
コーチ	糸瀬智成
マネージャー	萓谷英司

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	石原裕士	4	○	②	
2	森本賢司	5	○	②	②
3	福浜秀樹	5	○		
4	萓谷英司	5	○		
5	宮宇地雄介	3	○		
6	安井孝児	1	○		
7	山下達郎	1	○		
8					

学校名	新居浜工業高等専門学校
監督	西谷郁夫
コーチ	平木弘一
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	佐野雄一	5			①

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	山内沙織	5		①	①
2	酒井静佳	1		①	

学校名	詫間電波工業高等専門学校
監督	奥山真吾
コーチ	
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	北野靖樹	4		①	
2	元木大輔	3		①	

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	槍野可奈	5		②	
2	井上絵美	5		②	

学校名	高知工業高等専門学校
監督	岸本誠一
コーチ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	藤田未央	2			②

九州地区

学校名	有明工業高等専門学校
監督	中島洋典
コーチ	
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	吉開亮介	5			①

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	岡部広奈	2		②	
2	柿木美紀	1		②	

学校名	八代工業高等専門学校
監督	久保田智
コーチ	池田直光
マネージャー	富田洋子

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	園上豊和	5	○	②	
2	岩本雄治朗	5	○	②	
3	山尾高史	5	○		
4	前田泰幸	4	○		
5	吉原翼	4	○		
6	緒方拓哉	3	○		
7	盛高尚武	3	○		
8	柿坂昭紀	3	○		

学校名	北九州工業高等専門学校
監督	白神宏
コーチ	
マネージャー	陣山純一

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	矢幡将二郎	4	○		
2	山崎崇	3	○		
3	山田耕輔	3	○	①	
4	熊丸太	3	○		
5	上田淳一	2	○		
6	有田友紀	2	○	①	
7	奥村仁尚	2	○		
8	内田裕和	1	○		

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	則元由美	5		①	②
2	福本弥生	2		①	①

学校名	鹿児島工業高等専門学校
監督	赤沢正治
コーチ	
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	平岡旭洋	5			②

栄光の記録

大会	会場	種目	1位	2位	3位	
第一回	旭川	団体	宮城	長岡	佐世保	釧路
		個人（複）	山本和徳 平間次男 （宮城）	小林俊仁 池為弘 （旭川）	阿部順一 吉井正浩 （苫小牧）	
		個人（単）	小林俊仁 （旭川）	池為弘 （旭川）	本間道英 （長岡）	
第二回	宮城	団体	宮城	旭川	佐世保	長岡
		個人（複）	昆野良久 太田博道 （宮城）	小野裕 松浦勇 （宮城）	小山馨 谷茂則 （福井）	玉村嘉男 小竹原勝浩 （福井）
		個人（単）	昆野良久 （宮城）	金山尚幸 （高松）	小山馨 （福井）	小野裕 （宮城）
第三回	福井	団体	宮城	長岡	福井	旭川
		個人（複）	土田実 土田外志夫 （富山）	堀江定 永桶俊一 （長岡）	小野裕 松浦勇 （宮城）	大須賀弘行 竹内実 （宮城）
		個人（単）	大須賀弘行 （宮城）	山本憲幸 （旭川）	金山尚幸 （高松）	大久保ひとし （舞鶴）
第四回	米子	団体	長岡	米子	新居浜	鶴岡
		個人（複）	中本泰司 山本明良 （米子）	山田和彦 大須賀弘行 （宮城）	田沢寿一 館山健逸 （八戸）	涌井正樹 神田実 （長岡）
		個人（単）	中本泰司 （米子）	日野豊 （新居浜）	砂野修治 （新居浜）	小竹原勝治 （福井）
第五回	新居浜	団体	新居浜	長岡	米子	宮城
		個人（複）	神田実 涌井正樹 （長岡）	日野豊 砂野修治 （新居浜）	田沢寿一 館山健逸 （八戸）	大須賀弘行 工藤洋之 （宮城）
		個人（単）	涌井正樹 （長岡）	日野豊 （新居浜）	中本泰司 （米子）	林浩一郎 （長岡）
第六回	北九州	団体	新居浜	米子	宮城	石川
		個人（複）	白石健司 堀内敬一 （新居浜）	中野浩之 酒井充英 （石川）	林浩一郎 岡村孝生 （長岡）	小野隆則 小島克 （北九州）
		個人（単）	林浩一郎 （長岡）	中本泰司 （米子）	山本明良 （米子）	蜂谷順 （茨城）
第七回	奈良	団体	石川	米子	高知	福島
		個人（複）	酒井充英 中松章一 （石川）	南康一 平沢則昭 （福井）	伊藤浩 岡村孝生 （長岡）	広原洋司 小室勤三 （茨城）
		個人（単）	小田高博 （高知）	南康一 （福井）	吉見正 （茨城）	山根直樹 （津山）
第八回	東京	団体	福島	新居浜	長岡	富山
		個人（複）	広原洋司 小室勤三 （茨城）	坂井政彦 前田栄造 （富山）	小田高博 北村竜 （高知）	鶴田浩康 秋山享 （新居浜）
		個人（単）	小田高博 （高知）	山根直樹 （津山）	小谷清史 （米子）	中西英夫 （東京）
第九回	苫小牧	団体	福島	新居浜	旭川	東京
		個人（複）	大場岳史 田口義紀 （仙台電波）	太田海 阿部浩 （鶴岡）	城戸吉己 秋山亨 （新居浜）	中西英夫 福田正宏 （東京）
		個人（単）	黒沢勝敏 （福島）	飯塚俊三 （福島）	酒井謙一 （福島）	秋山亨 （新居浜）

大会	会場	種目		1位	2位	3位	
第十回	福島	団体		福島	新居浜	佐世保	旭川
		個人（複）		酒井謙一 黒沢勝敏 （福島）	飯塚俊三 薄葉淳 （福島）	中西英夫 福田正宏 （東京）	田中博幸 山口誠 （佐世保）
		個人（単）		黒沢勝敏 （福島）	飯塚俊三 （福島）	井出利秀 （佐世保）	渡邊清隆 （佐世保）
第十一回	鈴鹿	団体		佐世保	茨城	津山	都立工
		個人（複）		井出利秀 渡邊清隆 （佐世保）	西田光宏 谷本直文 （高知）	金浦新吾 横井善充 （新居浜）	薄葉淳 福田健太郎 （福島）
		個人（単）		井出利秀 （佐世保）	渡邊清隆 （佐世保）	薄葉淳 （福島）	堀部豊美 （苫小牧）
第十二回	津山	団体		佐世保	熊本電波	都立工	福島
		個人（複）		六嘉孝信 郷健太郎 （熊本電波）	堀込竜也 元吉光一 （都立工）	辻勉 木下聡 （佐世保）	西村雄 渡邊清隆 （佐世保）
		個人（単）		渡邊清隆 （佐世保）	元吉光一 （都立工）	細川智之 （奈良）	田中真二 （宇部）
第十三回	新居浜	団体		佐世保	熊本電波	福島	富山
		個人（複）		渡邊清隆 濱野達矢 （佐世保）	野原嘉親 作内宗明 （富山）	林利和 樋口三明 （新居浜）	若林政昭 楢原健蔵 （神戸市立）
		個人（単）		渡邊清隆 （佐世保）	久保正高 （高知）	本木実 （熊本電波）	斎藤賢 （秋田）
第十四回	熊本	団体		熊本電波	東京	福島	新居浜
		男子	個人（複）	中島信頼 坂巻五郎 （東京）	上野敏弘 本木実 （熊本電波）	高畑憲明 持本治幸 （呉）	高畠剛 蔵本茂雄 （石川）
		男子	個人（単）	中島信頼 （東京）	本木実 （熊本電波）	田中史八 （旭川）	高畑憲明 （呉）
		女子	個人（複）	小野祐里 三原久美 （新居浜）	安藤里美 新宅博子 （奈良）	松原ゆかり 斉藤早智子 （旭川）	中村律子 及川由紀 （一関）
		女子	個人（単）	松原ゆかり （旭川）	上野真奈 （高知）	酒本亜希子 （津山）	安藤里美 （奈良）
第十五回	神戸	団体		福島	石川	旭川	宇部
		男子	個人（複）	井上晃志 井上大輔 （新居浜）	田尻真一 紫垣竜一 （熊本電波）	小西貴生 松尾富雄 （石川）	松尾勝司 鎌田聡 （苫小牧）
		男子	個人（単）	中村一義 （福島）	蔵本茂雄 （石川）	田尻真一 （熊本電波）	安藤毅 （奈良）
		女子	個人（複）	安藤里美 新宅博子 （奈良）	小野祐里 三原久美 （新居浜）	石橋友加 平田宏美 （有明）	斉藤卓智子 松原ゆかり （旭川）
		女子	個人（単）	安藤里美 （奈良）	松原ゆかり （旭川）	上野真奈 （高知）	平尾なみ （高知）
第十六回	茨城	団体		宇部	苫小牧	福島	新居浜
		男子	個人（複）	立石健一 城戸幸信 （有明）	本田秀一 松原輝 （長岡）	小笹優 渡辺秀樹 （福島）	井上大輔 宮本誠司 （新居浜）
		男子	個人（単）	安藤毅 （奈良）	塩見浩二 （新居浜）	松岡利幸 （宇部）	ルディ・ハンジャヤ （鈴鹿）
		女子	個人（複）	泉真由美 築城久美子 （奈良）	三次真美 紫垣智美 （熊本電波）	平田宏美 宮木理恵 （有明）	三條公美子 高橋千春 （苫小牧）
		女子	個人（単）	平田宏美 （有明）	紫垣智美 （熊本電波）	松原ゆかり （旭川）	谷智美 （呉）

大会	会場	種目		1位	2位	3位	
第十七回	米子	団体		宇部	有明	長岡	奈良
		男子	個人(複)	安藤 毅 岸谷 征典 (奈良)	松尾 勝司 鎌田 聡 (苫小牧)	立石 健一 城戸 幸信 (有明)	松原 輝 高橋 章 (長岡)
			個人(単)	安藤 毅 (奈良)	高橋 章 (長岡)	安田 春二 (高松)	牧嶋 隆光 (有明)
		女子	個人(複)	泉 真由美 築城 久美子 (奈良)	高橋 千春 戸子台 明日香 (苫小牧)	岩佐 美佳 稲田 真由子 (米子)	福島 千夏 渡辺 真由子 (石川)
			個人(単)	泉 真由美 (奈良)	松原 ゆかり (旭川)	青山 美由紀 (秋田)	稲田 真由子 (米子)
第十八回	八戸	団体		苫小牧	有明	佐世保	福島
		男子	個人(複)	福家 信洋 山口 真治 (奈良)	鎌田 聡 井口 一行 (苫小牧)	板橋 淳一 古橋 健 (仙台電波)	磯部 貴弘 境 博明 (富山)
			個人(単)	エディ・スウェイト (久留米)	高橋 章 (長岡)	鈴木 直人 (福島)	福家 信洋 (奈良)
		女子	個人(複)	平田 宏美 永松 瑞穂 (有明)	松原 ゆかり 楠野 由佳 (旭川)	伊藤 寿子 大久保 範子 (宮城)	泉 真由美 築城 久美子 (奈良)
			個人(単)	紫垣 智美 (熊本電波)	永松 瑞穂 (有明)	泉 真由美 (奈良)	鴨川 奈緒 (東京)
第十九回	舞鶴	団体		奈良	函館	北九州	呉
		男子	個人(複)	浅野 慎吾 古橋 健 (仙台電波)	江本 智彦 小池 幸裕 (宮城)	前田 孝彦 園田 高士 (八代)	下田 託郎 小川 修 (苫小牧)
			個人(単)	古橋 健 (仙台電波)	本山 宏土 (呉)	福家 信洋 (奈良)	高橋 章 (長岡)
		女子	個人(複)	平田 宏美 永松 瑞穂 (有明)	稲田 真由子 佐藤 久美 (米子)	植松 悦子 塩崎 雪乃 (新居浜)	伊藤 寿子 大久保 範子 (宮城)
			個人(単)	紫垣 智美 (熊本電波)	永松 瑞穂 (有明)	稲田 真由子 (米子)	鴨川 奈緒 (東京)
第二十回	大分	団体		八代	宇部	旭川	佐世保
		男子	個人(複)	江本 智彦 小池 幸裕 (宮城)	福家 信洋 山口 真治 (奈良)	宮崎 宏志 川田 恵寛 (宇部)	渡邊 泰彦 高橋 正亘 (函館)
			個人(単)	甲斐 義樹 (北九州)	宮崎 宏志 (宇部)	伊藤 聖幸 (秋田)	小池 幸裕 (宮城)
		女子	個人(複)	森崎 優子 富田 祐加 (八代)	渡辺 真由子 稲沢 理代 (石川)	鴨川 奈緒 川畑 千尋 (東京)	高橋 千春 戸子台 明日香 (苫小牧)
			個人(単)	紫垣 智美 (熊本電波)	楠野 由佳 (旭川)	稲沢 理代 (石川)	堀内 智美 (都城)
第二十一回	岐阜	団体		八代	仙台電波	苫小牧	呉
		男子	個人(複)	澤田 浩介 横山 弘 (高知)	斯波 順一 斉藤 太賀哉 (東京都立)	板橋 明智 吉開 亮介 (有明)	安藤 俊雄 鹿屋 啓一 (詫間電波)
			個人(単)	堺 博明 (富山)	今村 悦郎 (新居浜)	大江 裕介 (岐阜)	仲山 久也 (苫小牧)
		女子	個人(複)	鴨川 奈緒 川畑 千尋 (東京)	富田 祐加 森崎 優子 (八代)	渡辺 真由子 稲沢 理代 (石川)	中野 裕貴枝 田中 香織 (新居浜)
			個人(単)	鴨川 奈緒 (東京)	山内 沙織 (新居浜)	堀内 智美 (都城)	楠野 由佳 (旭川)

大会	会場	種目		1位	2位	3位	
第二十二回	八王子	団体		八代	高知	呉	宮城
		男子	個人(複)	鈴木崇史 菅原彰則 (宮城)	園上豊和 岩本雄治朗 (八代)	澤田浩介 横山弘 (高知)	齋藤太賀哉 鈴木文二郎 (都立)
			個人(単)	成毛章容 (東京)	滝澤貴志 (旭川)	横山弘 (高知)	澤田浩介 (高知)
		女子	個人(複)	堀内智美 臼井真美 (都城)	鈴木瑞恵 山内沙織 (新居浜)	東生恵 稲沢理代 (石川)	川畑千尋 林美紀子 (東京)
			個人(単)	堀内智美 (都城)	山内沙織 (新居浜)	稲沢理代 (石川)	東久美子 (鹿児島)
第二十三回	南国	団体		北九州	東京	仙台電波	新居浜
		男子	個人(複)	山田耕輔 有田友紀 (北九州)	板橋明智 吉開亮介 (有明)	大上真樹 宮崎篤 (米子)	成毛章容 川路武司 (東京)
			個人(単)	成毛章容 (東京)	横山弘 (高知)	宮崎篤 (米子)	園上豊和 (八代)
		女子	個人(複)	則元由美 福本弥生 (北九州)	堀内智美 臼井真美 (都城)	隠地宏恵 川崎可奈子 (奈良)	川畑千尋 大山美香 (東京)
			個人(単)	福本弥生 (北九州)	則元由美 (北九州)	山内沙織 (新居浜)	岡田真理子 (秋田)
第二十四回	函館	団体					
		男子	個人(複)				
			個人(単)				
		女子	個人(複)				
			個人(単)				

競技成績記録用紙

＝団体戦＝

試合No.	（　　）高専　対（　　）高専		
D		（　）［　　］（　）	
S 1		（　）［　　］（　）	
S 2		（　）［　　］（　）	

試合No.	（　　）高専　対（　　）高専		
D		（　）［　　］（　）	
S 1		（　）［　　］（　）	
S 2		（　）［　　］（　）	

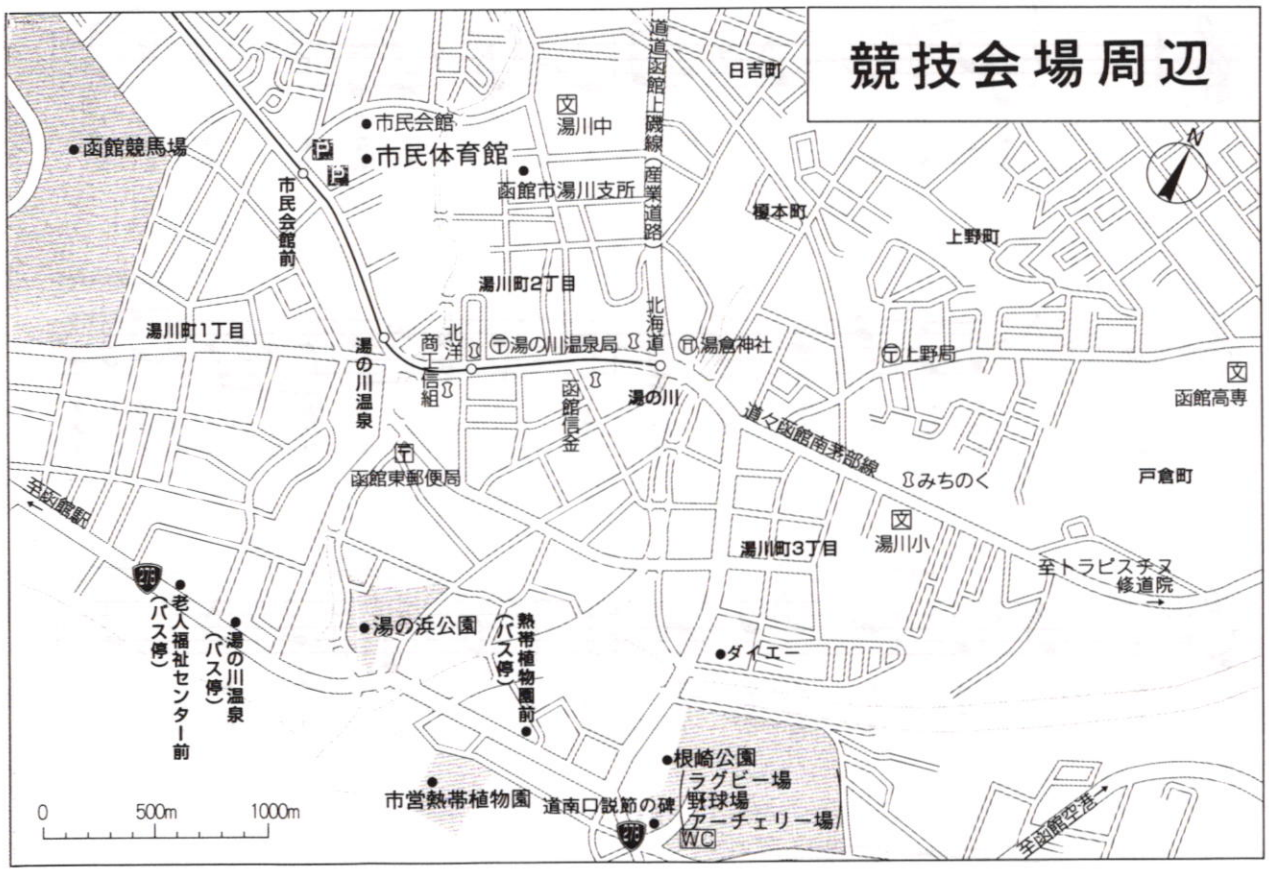
試合No.	（　　）高専　対（　　）高専		
D		（　）［　　］（　）	
S 1		（　）［　　］（　）	
S 2		（　）［　　］（　）	

試合No.	（　　）高専　対（　　）高専		
D		（　）［　　］（　）	
S 1		（　）［　　］（　）	
S 2		（　）［　　］（　）	

＝個人戦＝

No.	選　手　名	ス　コ　ア	選　手　名
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	
		(　)［　— — —　］(　)	

会 場 案 内 図


競技会場周辺
N
函館競馬場
市民会館
市民体育館
函館市湯川支所
湯川中
道道函館上磯線（産業道路）
日吉町
榎本町
上野町
湯川町2丁目
湯川町1丁目
市民会館前
湯の川温泉
北洋
商工信組
湯の川温泉局
北海道
湯倉神社
上野局
函館高専
湯の川
函館信金
函館東郵便局
道々函館南茅部線
みちのく
戸倉町
湯川小
湯川町3丁目
至函館駅
至トラピスチヌ修道院
老人福祉センター前（バス停）
湯の川温泉（バス停）
湯の浜公園
熱帯植物園前（バス停）
ダイエー
根崎公園
ラグビー場
野球場
アーチェリー場
WC
市営熱帯植物園
道南口説節の碑
至函館空港
0
500m
1000m

全国高専体育大会の歌

行　進　曲

山口誓子　作詞
大橋　博　作曲



一、若人吾等
規律の下に
力を尽くす
ここにまことの
自由あり
栄えあるスポーツ
栄えあるスポーツ

二、若人吾等
花を咲かせて
花を援けて
ここに一つに
結び合ふ
親しやるスポーツ
親しやるスポーツ

三、日出づる国の
青き山脈
その加護受けて
ここにひたすら
競い合ふ
美しスポーツ
美しスポーツ

第35回　全国高等専門学校体育大会
広　告　目　次

株式会社今井工務店
株式会社エスイーシー
加藤組土建株式会社
函館エヌ・デー・ケー株式会社
株式会社松本組
みぞぐち事業株式会社
株式会社メデック
及明ビル管理株式会社
タクマ汎用機械株式会社
株式会社テクノスコーワ
株式会社東和電機製作所
株式会社日本旅行北海道函館支店
函館三菱自動車販売株式会社
函館三菱ふそう自動車販売株式会社
有限会社森文化堂
株式会社石井組
株式会社石田文具
株式会社小野寺商事
株式会社近藤商会
スエヒロ事務機株式会社
ハイテック株式会社
半田機械器具株式会社
ヤマト運輸株式会社

BUILDING
建築

高い技術力で公共施設から高層マンションまで柔軟に対応。

建物はその使用目的によって、さまざまに分類されます。
今井工務店は、お客様の目的とニーズに合わせた建物を、公共施設、
商業施設、一般住宅、高層マンションまで、高い技術力で建築します。

CIVIL ENGINEERING WORK
土木

住宅地造成工事を中心に暮らしの確かな基礎づくり。

私たちが暮らす街が快適で健やかであるためには、
豊かな経験に基づいた基礎づくりが必要です。
今井工務店は街づくりの基礎である住宅造成工事を中心に
各種土木工事を数多く行っています。

DEVELOPER
企画事業

住宅地や商業施設をトータルにプランニング。

今井工務店では長年の実績と経験を基に、
住宅地や商業施設の基本構想のトータルなプランニングを行っています。
もちろん、後行程も含めて竣工・引渡まで責任を持って作業しています。

常にお客様のニーズに応える総合建設業のために。

imai ENGINEERING CO., LTD.

株式会社 今井工務店

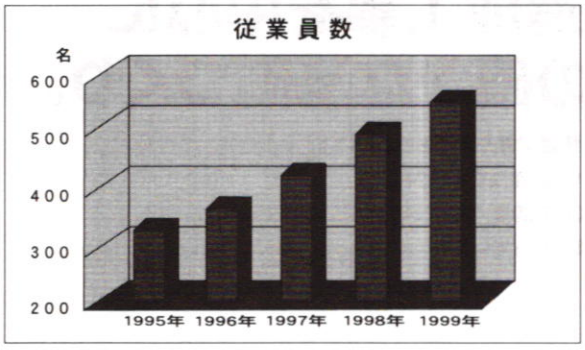
本　社　〒041-0824 函館市西桔梗町849番地の22　TEL(0138)48-5544　FAX(0138)48-7080
札幌支店　〒003-0836 札幌市白石区北郷6条4丁目4番12号　TEL(011)874-8333　FAX(011)874-8376
松前支店　〒049-1512 松前郡松前町字福山111番地　TEL(01394)2-2551　FAX(01394)2-3366

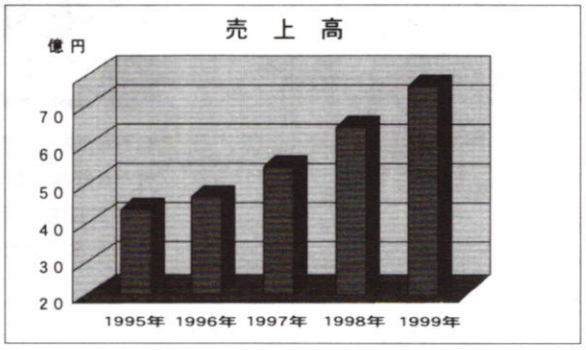
SEC 株式会社　エスイーシー

21世紀へ飛躍する情報通信企業

●情報通信分野の設計開発事業で急成長

移動体通信ネットワークや統合デジタル通信ネットワーク(ISDN)の拡大に伴い、その基盤となる携帯端末・基地局・次世代光交換機に伴うソフト・ハード・ファームウェアの設計開発や最先端の情報通信の設計開発事業が急速に拡大しています。(平成12年４月　新入社員38名入社)





"スター1000" 一人一人の輝く個性を発揮する1,000名体制の技術集団を創造します

道内ソフト会社　売上高ランキング５位

●最先端の設計開発環境を函館・札幌で実現

○最新鋭のワークステーションやLANによるスピーディ・パワフルな設計開発環境
○インターネットやテレビ会議システムの導入により、タイムラグを克服したテレコミュニケーション

情報通信分野の豊富な経験者を求めています。ー通年採用実施中ー

◎汎用交換機、局用交換機、移動体通信システム等のハード・フォーム・ソフト設計開発経験者
◎ISDN、WCDMA、IP関連、光制御などの経験者
◎UNIX、C、C++、ワークステーションでの設計開発経験者

実力評価で高給待遇

函館高専卒業生　55名 在籍（全従業員　550名）

株式会社　エスイーシー

■本社　〒040-8632　函館市末広町22-1　ニューメディアビル
●経営管理本部　TEL：0138-22-7188(代)　FAX：0138-27-6814
●情報通信事業本部　TEL：0138-23-5433(代)　FAX：0138-23-5455
□札幌システムセンター　TEL：011-640-7787(代)　FAX：011-640-7786
□我孫子システムセンター　TEL：0471-83-4045(代)　FAX：0471-83-4046

■会社概要
◇代表者／代表取締役社長　沼崎　弥太郎　◇創　業／1969年10月
◇従業員数／570名　◇売上高／71億円(平成11年度)

■業務内容
◇情報通信：ハード(LSI、PKG)・ファーム・ソフトウェアの設計開発
◇情報処理：受託計算・インターネット・LAN・コンピュータ及び関連機器、通信機器、システムの販売

りっぱな技術者



■カモノハシ

哺乳綱単孔目カモノハシ科、卵生の哺乳類という、一属一種の希少動物。カモのようなくちばしをもつため、この名前がついた。

オーストラリアに生息するカモノハシは、
泳ぎが上手なだけではなく、地下にトンネルを掘って
巣穴をつくるという、多彩な能力の持ち主です。
そのトンネルの構造は複雑で、崩落を防ぐために
土がしっかりと固定された木の根の下を、
屈曲しながら掘り進められています。
また、産卵期には巣穴よりもさらに長いトンネルを掘り、
アシの葉などをしきつめた産室をつくります。
産室の安全を守るため、
その入口には「プラグ」と呼ばれる土の壁をつくり
天敵の侵入を防いでいます。
カモノハシはいわば、自然という環境を上手に利用する
りっぱな土木技術者といえます。
私たち加藤組土建も、来るべき21世紀に向け
人と自然との共生を深く考え、より快適な環境づくりを
めざして行きたいと思います。
それが土木技術の原点だからです。

国際品質保証規格ISO9002認証取得

加藤組土建株式会社

URL　http ://www.kato-gumi.co.jp/

本　社／〒040-0033 函館市千歳町3番2号　TEL(0138) 23-7101　FAX(0138) 26-6930

函館エヌ・デー・ケー株式会社

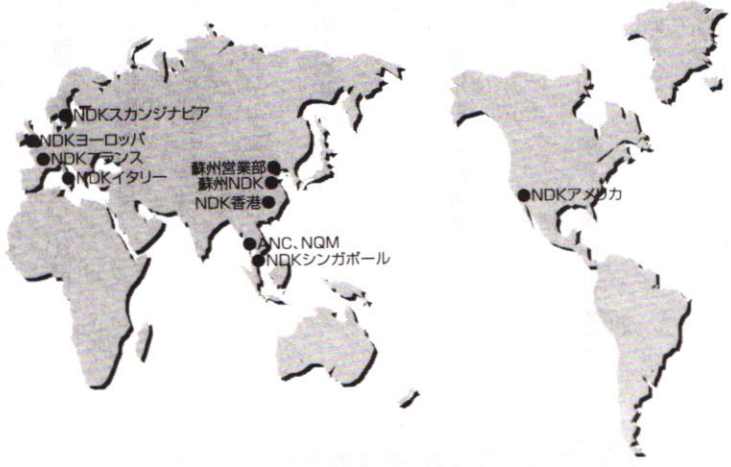
●〒042-0958　函館市鈴蘭丘町3番地63　TEL 0138-32-3211　FAX 0138-31-9391●

世界をステージに、
NDKの技術が広がります。

エレクトロニクス機器には欠かすことのできない“水晶”の専門メーカーとして、いちはやく腕時計水晶振動子の開発をはじめとする数々の新技術を切り拓き、あらゆる最先端産業の発展を支えてきたＮＤＫ。その技術力と信頼性の高さは、海上保安庁、防衛庁、警察庁、宇宙開発事業団などの指定メーカーに選ばれた事実が証明しています。

また現在では、海外からの高い評価に応えて、北米、欧州、東南アジア地域にも積極的に拠点を配置するなど、世界のリーディングカンパニーとしてのネットワークづくりも着々と進行中。そしてＮＤＫの今日を築いた技術力向上へのたゆまぬ努力をさらに推し進め、社員一人ひとりの人間的成長とともに、21世紀へ向けて走りつづけます。





新しい時代を創るために・・・
・・・新しい技術を求めて



長万部町国縫〈ワイングラス型〉漁港

《総 合 建 設 業》

MATSUMOTO-GUMI

株式会社 松本組

代表取締役会長　松　本　演　之

代表取締役社長　宮　部　英　一

本　　社　函館市吉川町4番30号　☎(0138)42-7131

札幌支店　札幌市北区北40条西4丁目2番7号(札幌N40ビル5F)☎(011)757-8181

東京支店　東京都港区新橋4丁目25番6号(ヤスヰビル2・5F)　☎(03)5401-0511

はこぶ、つくる、そして　利用する。
さらに、その向こうへ。

物流事業



ぐ～んとのびる“のっぽ君で”らくらく引越し
高い建物での引越しが簡単・スピーディー
大切な家具や荷物を守ります！



重量品作業の
プロ集団 !!

重量品の運搬・据付
安全、スピーディー

土木・建築工事、コンクリート製品の製造事業

お気軽に御相談下さい !!





釣り餌製造販売事業（イカのゴロわた再利用）



地球環境に貢献 !!

じゃまものとされてきた、イカゴロ
が入れ喰餌に変身！

環境事業



産業廃棄物のことなら
おまかせ下さい !!



「人・もの・心のネットワーク」

みぞぐち事業株式会社

函館本社　〒040-0076　函館市浅野町５番３号
TEL(0138)45-0810
（ 室蘭営業所・札幌営業所・美唄作業所 ）

MEDEC

装置エンジニアリング
精密機械加工・組立
アプリケーションソフト
産業用機器販売

〈Uターン随時募集中〉



IC製造用ボード挿抜機

株式会社 メデック

本　社　〒042-0958 函館市鈴蘭丘町3番地133
TEL(0138)52-9775㈹・FAX(0138)52-9637
札幌営業所　〒003-0832 札幌市白石区北郷2条11丁目4番5号
TEL(011)875-7801㈹・FAX(011)875-7803
秋田営業所　〒010-1638 秋田市新屋表町6番17号
TEL(018)888-8225㈹・FAX(018)828-0333

及明ビル管理株式会社

清　掃・警　備・機械警備・綜合管理

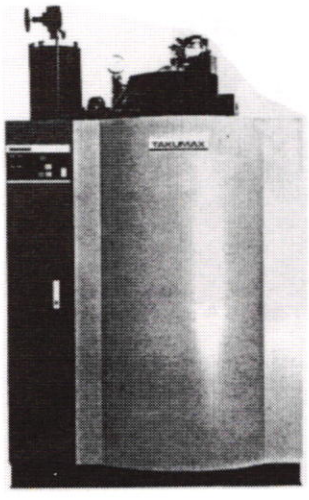
041-0851　函館市本通1丁目5番13号
TEL 53-6037　FAX 53-4839

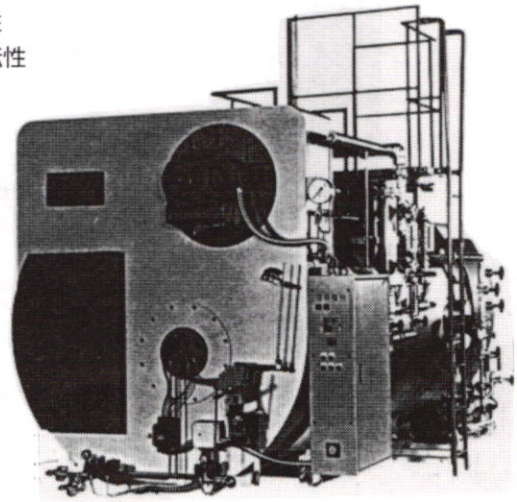
総務部　TEL 31-5081　FAX 31-5082

TAKUMA

タクマのボイラは
コスト・パフォーマンスがすぐれています

●品質●性能●機能●安全性
●耐久性●保守●管理●運転性





■炉筒煙管式
REボイラ FII
蒸発量：2,400～7,200kg/h
燃　料：灯油・A重油・ガス

■貫流ボイラ
タクマックス TW
蒸発量：500～2,000kg/h
燃　料：灯油・A重油・ガス

TAKUMA
タクマ汎用機械株式会社

本　社　兵庫県尼崎市金楽寺町2-2-33（タクマビル）
電話(06)6488-2233　FAX(06)6489-0115
東京支社　東京都新宿区高田馬場1-28-10（三慶ビル）
電話(03)3209-8281　FAX(03)3207-3117
札幌支店　札幌市中央区大通西5-11（大五ビル）
電話(011)281-6001　FAX(011)231-8856

●33ヵ所の拠点と特約メンテナンス店で
全国ネットのアフターサービスを実施

21世紀の医療・環境・福祉の充実を...

株式会社 テクノスコーワ

化学試薬・臨床試薬・理化学器械・介護用品

薬局調剤室のトータルコーディネート

代表取締役社長　尾越　和子

〒041-0821　函館市港町3丁目4番2号
（北大水産学部横門向い）
http://tekunosukowa.dish.ne.jp

☎41-6543　FAX 41-3101

併設

指定居宅介護支援事業所　ハーモニー　☎41-0011

指定福祉用具貸与事業所　テクノスコーワ　ライフケア事業部



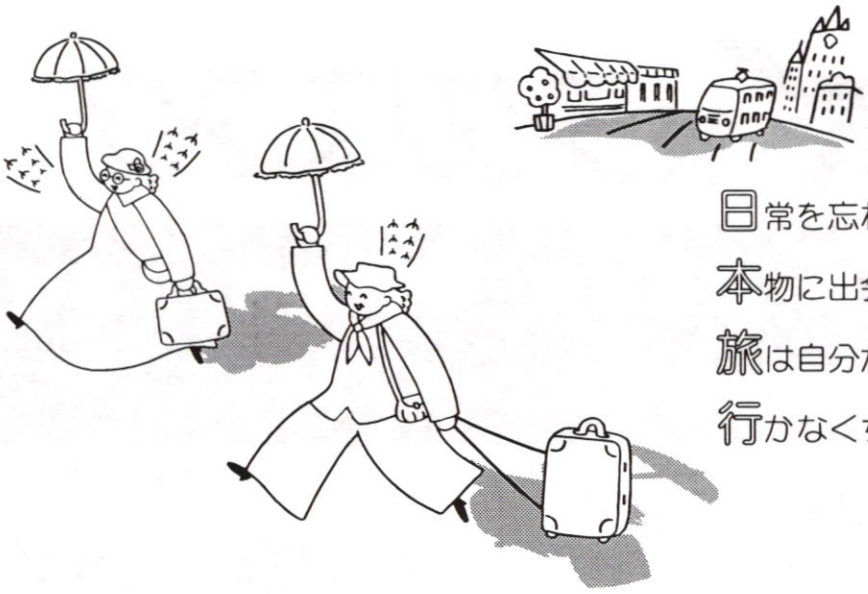
海から世界へ

私たちは
北海道を拠点にして
世界に通用する技術開発に
心を合わせて努力し、前進する。
私たちは、制作を通して
お客さまに役立ち
喜んでいただけるものを
真剣に考え、提案していく。

株式会社 東和電機製作所

本社・工場	〒040	函館市吉川町6番29号	TEL (0138) 41-4410	FAX (0138) 41-2867
福岡営業所	〒810	福岡市中央区港2丁目3番28号	TEL (092) 711-8920	FAX (092) 711-8921
八戸営業所	〒031	青森県八戸市新濃3丁目8番14号	TEL (0178) 34-6134	FAX (0178) 34-6106
大畑出張所	〒039-44	青森県下北郡大畑町湊村187	TEL (0175) 34-4400	FAX (0175) 34-4400
北陸出張所	〒920	金沢市諸江町下丁376番地	TEL (0762) 37-7442	FAX (0762) 37-1596

どこへ行こうか。そこから旅は始まる。



日常を忘れて
本物に出会いたい。
旅は自分から
行かなくちゃ。

日本旅行北海道

函館支店

〒040-0063　函館市若松町５－12　　TEL　0138－23－4201

ひとつ上いくヒロビロ ディオン

いいものながく 三菱自動車

5ナンバー
3列シート
7人乗り



いい買い物 Dion誕生。

函館三菱自動車販売(株)

お客様相談窓口 0120-377-324

本社／函館市美原3丁目13番23号 ☎(0138) 47-7111(代)

●中央営業所/函館市亀田本町61番16号 ☎(0138)45-1111
●八雲営業所/山越郡八雲町東雲町17番18号 ☎(01376)2-4340
●湯川営業所/函館市湯川町3丁目2番5号 ☎(0138)57-4444
●サービスセンター/函館市万代町22番20号 ☎(0138)41-2131

Heart-Beat Motors

MITSUBISHI MOTORS

www.mitsubishi-motors.co.jp

いいものながく 三菱自動車



全性能一新

NEW ファイター'99登場!

くらべて選べば、ふそうの中型。

[NX(ショートキャブ)も新登場]

生徒募集中!!
函館方面公安委員会指定
道南自動車学校
函館市金堀町5番18号 ☎0138-51-5612

函館三菱ふそう自動車販売株式会社 〒041-0812 函館市昭和3-32-26 TEL(0138)-42-1122

ビジネスを知っている、トラックを知っている。三菱FUSO

Heart-Beat Motors

MITSUBISHI MOTORS

www.mitsubishi-motors.co.jp/FUSO

私の一冊、地球サイズ。

ページの中に広がる新しい世界。そして出会い。
あなた自身の宇宙をよりワイドにしてくれる。
嬉しい一冊を森文化堂でお求め下さい。

本のみせ

森文化堂

■松　風　店/☎23-3238〈2Fは夜8時まで、1Fは夜10時まで営業〉
■川　原　店/函工グラウンド横☎55-7099……〈夜12時まで営業〉
■亀田本町店/カサハラ隣☎41-7110……〈夜12時まで営業〉
■桔　梗　店/桔梗町311-1☎47-8880……〈夜12時まで営業〉
■カウボーイ上磯店/七重浜7-14-1☎49-7272……〈夜8時まで営業〉

Isiigumi Corporation

To the World Standard Construction Industry of Hokkaido

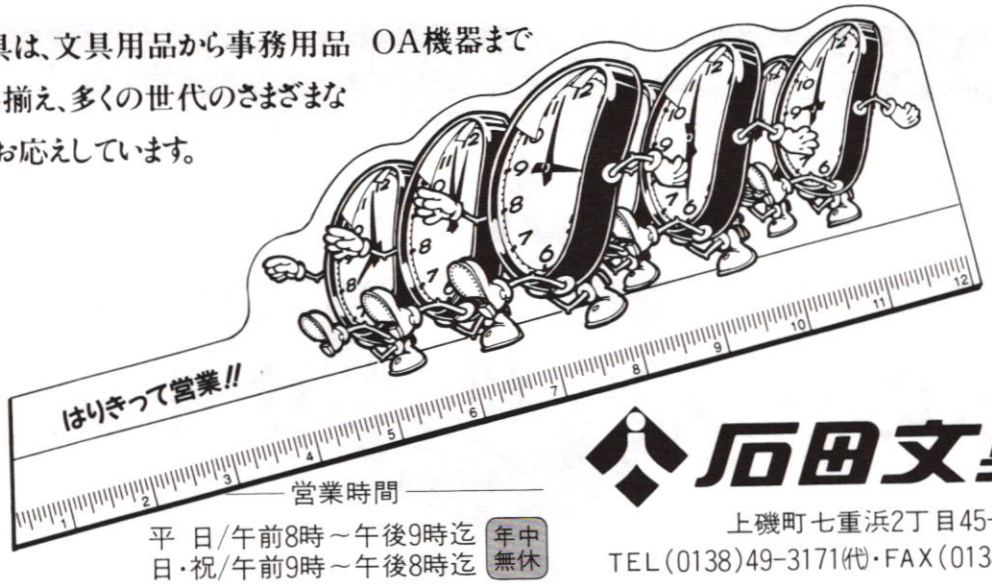
革新するフィールドの元、世界標準を目指し

株式会社　石　井　組

代表取締役　石　井　眞　一

〒041-0013　1-9 Tiyodaicho Hakodate-city Hokkaido
TEL0138-51-7266　Fax0138-51-7280 Email:head-office@isiigumi.co.jp

石田文具は、文具用品から事務用品　OA機器まで
豊富な品揃え、多くの世代のさまざまな
ニーズにお応えしています。



営業時間
平　日/午前8時～午後9時迄
日・祝/午前9時～午後8時迄
年中無休

石田文具

上磯町七重浜2丁目45-5
TEL(0138)49-3171㈹・FAX(0138)49-3271

ＯＡ機器全般
事務機器・スチール製品・製図機器
測量機器・教育機器・文具・印刷全般

株式会社 小野寺商事

函館市五稜郭町18番３号
TEL　51—5914（代表）
FAX　51—5933

事務機器・事務用品・視聴覚機器・パソコン機器・教科教材教具・体育器具

株式会社 近藤商会

取締役会長 池見厚一
取締役社長 相川正夫

本店 〒041-0824 函館市西桔梗町589番地（流通センター）
TEL(0138)49-3311(代) FAX(0138)49-3310

室蘭支店（〒051-0025）室蘭市常盤町6番17号 TEL(0143)22-9331(代) FAX(0143)22-9339
苫小牧支店（〒053-0021）苫小牧市若草町1丁目1番23号 TEL(0144)36-3311(代) FAX(0144)36-3223

デジタルコピー ・ 各社パソコン ・ 周辺機器
スチール家具 ・ 事務機械 ・ 事務用品
製図用品 ・ 測量機器 ・ 印刷一般

スエヒロ事務機株式会社

〒040-0073 函館市宮前町30番1号
電話 (0138) 代表 42-3176番
ファックス 42-3170番

コンピュータのことならお電話下さい 40—3891

技術と信頼のネットワーク Hitec

ハイテック株式会社

函館市富岡町2丁目4番21号 Tel.0138-40-3891
e-mail:hitec@hakodate.or.jp Fax.0138-40-3869

上下水道機材・暖房設備機器・産業機械・食品製造機械・土木建築機材

産業機材販売，施工　綜合商社

半田機械器具株式會社

本　社 函館市西桔梗町589番地124・TEL(0138) 49-1155(代)
FAX(0138) 49-3189

札幌支店 札幌市白石区菊水9条2丁目3番1号・TEL(011) 813-2210(代)
FAX(011) 821-6495

愛と荷物のあるかぎり。

宅急便



らくらく創造企業
ヤマト運輸

第35回　全国高等専門学校体育大会

ご協力ありがとう
ございます。

協賛団体一覧

〔五十音順〕

株式会社石井組 北海道函館市千代台町１－９
株式会社エスイーシー 北海道函館市末広町２２－１
加藤組土建株式会社 北海道函館市千歳町３－２
株式会社工藤組 北海道函館市梁川町５－４
株式会社管製作所 上磯郡上磯町追分３丁目２－２
株式会社菅原組 北海道函館市赤川町１９９－７
有限会社テクス 北海道函館市鈴蘭丘町３－１３３
株式会社東和電機製作所 北海道函館市吉川町６－２９
株式会社徳建設 北海道函館市美原１－４５－６

株式会社NaITO室蘭営業所

北海道室蘭市東町２－１７－１４

函館エヌ・デー・ケー株式会社

北海道函館市鈴蘭丘町３－６３

函館電子株式会社

北海道函館市亀田本町６７－３０

松江エンジニアリング株式会社

北海道亀田郡七飯町字中島１－２０

美和電気工業株式会社函館出張所

北海道函館市宮前町２９－３　函館不動産会館ビル

株式会社メデック

北海道函館市鈴蘭丘町３－１３３

有限会社森文化堂

北海道函館市松風町３－１３

山一食品株式会社

北海道函館市港町１－３６－１１

函館工業高等専門学校育成会

北海道函館市戸倉町１４－１

函館工業高等専門学校同窓会

北海道函館市戸倉町１４－１

大会スローガン

熱く！―しなやかな魂



シンボルマーク